

市営プールの整備に関する市民アンケート調査等

報 告 書

令和5年2月

武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課

目 次

はじめに

- (1) 調査の目的 序-1
- (2) 調査の概要 序-1

1 調査結果の概要

- (1) アンケート調査 1-1
- (2) 利用者ヒアリング調査 1-2
- (3) 利用団体ヒアリング調査 1-3
- (4) ワークショップ 1-3

2 アンケート調査

- (1) アンケート調査結果 2-1
- (2) アンケート調査票 2-32

3 利用者ヒアリング調査

- (1) 利用者ヒアリング調査結果 3-1
- (2) 利用者ヒアリング調査シート 3-11

4 利用団体ヒアリング調査

- (1) 利用団体ヒアリング調査結果 4-1
- (2) 利用団体ヒアリング調査方法 4-5

5 ワークショップ

- (1) ワークショップ結果 5-1
 - ①第1回ワークショップ結果 5-1
 - ②第2回ワークショップ結果 5-3
 - ③第3回ワークショップ結果 5-5
- (2) ワークショップ企画 5-7
 - ①ワークショッププログラム 5-7
 - ②ワークショップ説明資料 5-8

はじめに

（１）調査の目的

本調査は第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示されている市営プールの整備方針について、今後の検討の基礎的資料とするため、市民ニーズ等を把握することを目的に実施する。

（２）調査の概要

本調査は、アンケート調査、ヒアリング調査（利用者および利用団体）、ワークショップの４つの手法により、市民からの広く多様な意見を収集する形で実施した。各調査概要は、以下のとおりである。

①アンケート調査

項目	概要
調査対象	市内在住 16 歳以上の市民 2,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づき、地域別・年齢別に無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収（インターネットによる回答も可）
実施時期	令和４年８月～９月
回収結果	627 件（郵送回答 423 件、インターネット回答 204 件） 回収率：31.4%

②利用者ヒアリング調査

項目	概要
調査対象	市営プール利用者（屋内及び屋外プールの利用者）
調査場所	屋内及び屋外のプールサイド・更衣室前・観覧席・受付付近
調査方法	調査票・検討案を提示し、聴き取り調査（調査票は調査員が記入）
実施時期	令和４年８月（午前から夕方までの時間帯）
聴取結果	80 人

③利用団体ヒアリング調査

項目	概要
調査対象	市営プール利用団体（体育協会関連・高齢者等を対象とする団体など）
調査場所	電話及び総合体育館会議室
調査方法	調査票・検討案を説明又は提示し、聴き取り調査（調査票は調査員が記入）
実施時期	令和４年９月～11 月
聴取結果	9 団体

④ワークショップ

項目	概要		
対象地域	吉祥寺圏	中央圏	武蔵境圏
開催場所	武蔵野公会堂	武蔵野総合体育館	武蔵野プレイス
参加方法	市報等による公募		
検討方法	テーマに沿ったグループによる意見交換		
開催時期	令和4年11月12日	令和4年11月12日	令和4年11月25日
参加者数	6名	9名	12名

1 調査結果の概要

(中表紙裏面 白紙)

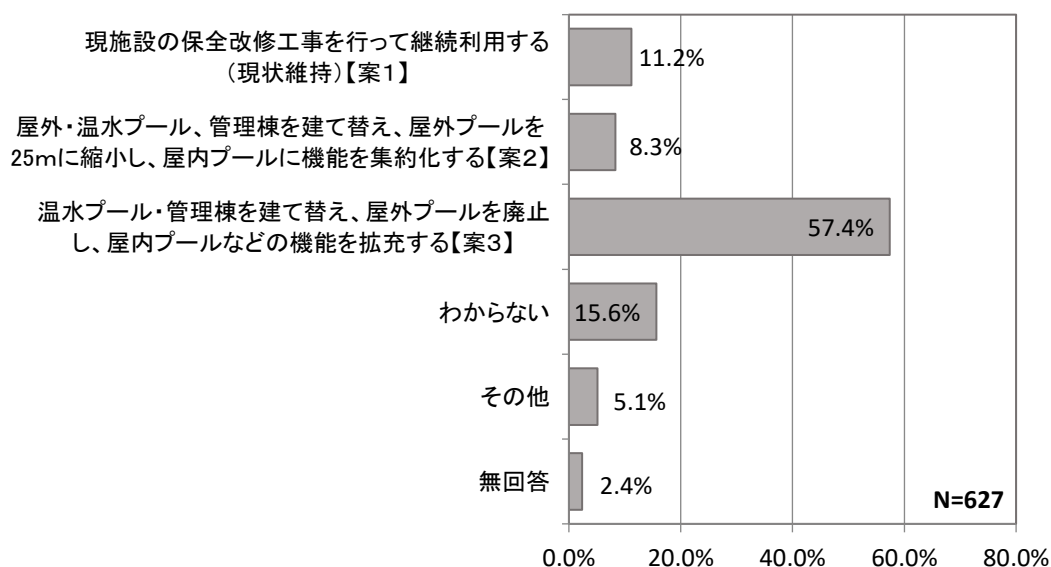
第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された整備検討案に対する意見について、各調査結果の概要は、以下のとおりである。

＜第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された整備検討案＞

- 【案１】 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）
- 【案２】 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを 25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する
- 【案３】 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する

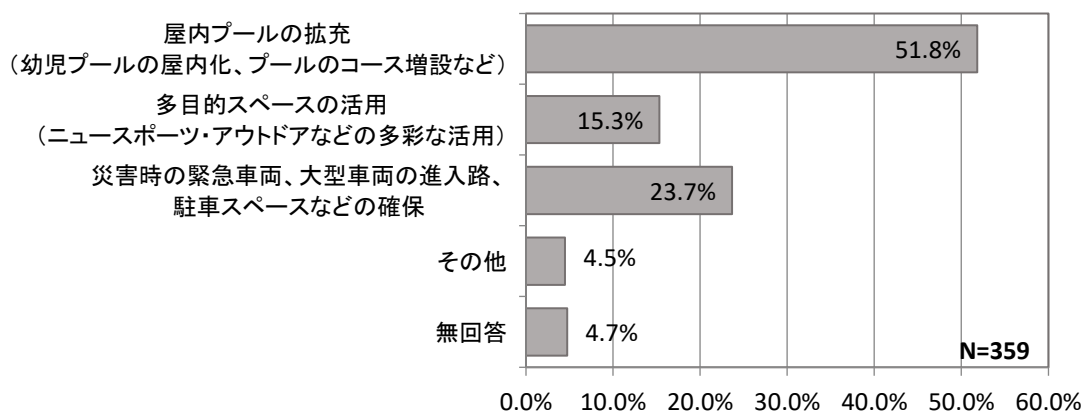
（１）アンケート調査

◆【案３】が６割弱、【案１】が１割強、【案２】が１割弱の順である。



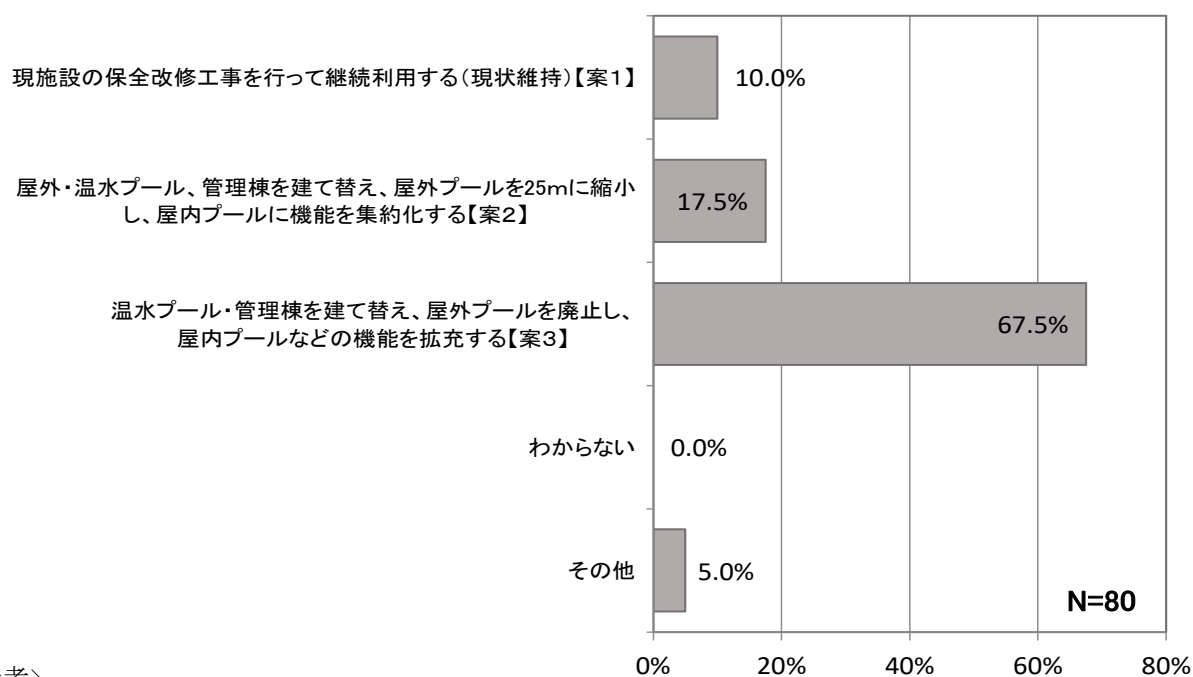
＜参考＞

市営プールの整備における機能拡充について重視したい点（【案３】と回答した人）



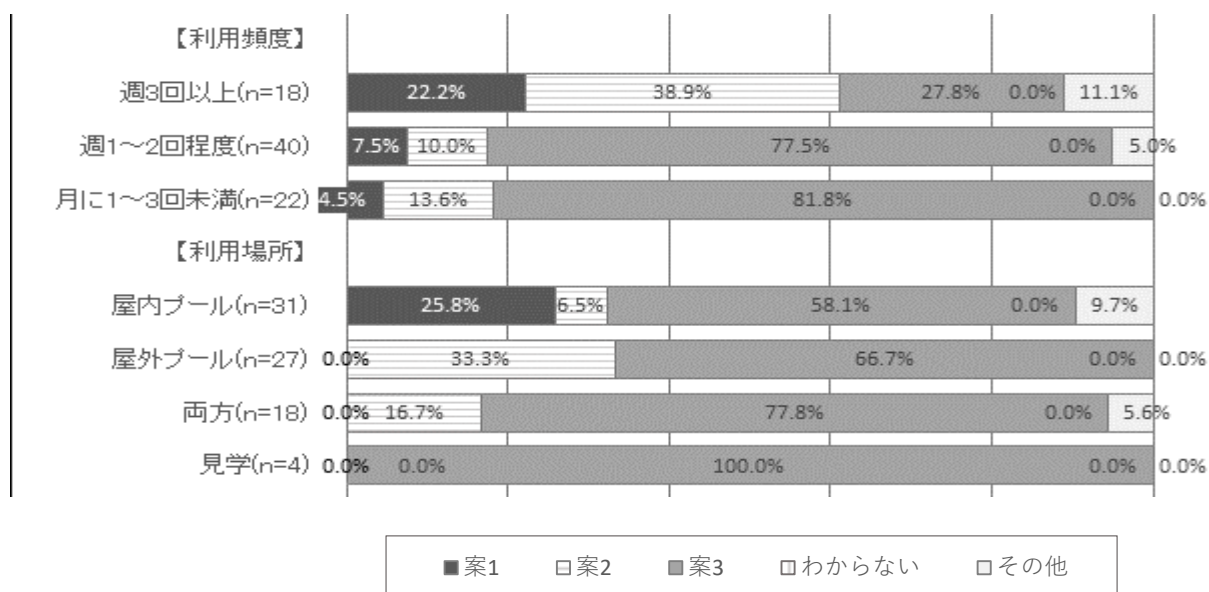
(2) 利用者ヒアリング調査

- ◆【案3】が7割弱、【案2】が2割弱、【案1】が1割の順である。
- ◆利用頻度別にみると、ばらつきがあるが、回答者の最も多かった「週1～2回程度」の利用者層では、【案3】が8割弱、【案2】が1割、【案1】が1割弱の順である。
- ◆利用場所別にみると、ヒアリング調査当日に回答者が利用していた施設については、「屋内プール」、「屋外プール」、「両方」いずれも、【案3】が50%以上を占めている。



<参考>

利用頻度・利用場所別内訳



※集計は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示しているため、割合の合計が 100.0% とならない場合がある。

(3) 利用団体ヒアリング調査

- ◆維持管理費や通年利用などの理由から、4団体が【案3】を支持した。
- ◆その他の団体では、屋外空間の気持ち良さや50mコースがあることから屋外プールを残してほしいとの意見があったが、一方でコスト面での課題についての意見もあった。
- ◆競技大会を開催する団体は、屋内に50mプールがあることが望ましいが、建設費などを現実的に考えると、公認競技が可能な25m×8コース程度があれば良いとの意見であった。
- ◆全体を通して、屋内プールの設備の充実並びに動線、バリアフリー及び衛生面の改善を求める意見が多かった。

(4) ワークショップ

- ◆ワークショップでは、3つの整備検討案について、参加者自身の考えを付箋に書いて意見を出し、さらに、グループでの意見交換をしながら、新たに気付いた点や、他の意見を参考にして考えた点など、付箋に書き足しながら多くの意見を出していった。各案について出された意見の数（出された付箋の枚数）は、以下のとおりである。なお、付箋は1枚につき1つの意見とし、重複した内容も含まれる。

	案1	案2	案3	全体的な改善点等
肯定的な意見	36	23	27	-
否定的な意見	32	16	23	-
その他意見	11	14	18	39
合計	79	53	68	39

- ◆【案1】について、屋外プールの良さに加えて、50mプールでの市内大会が開催可能といった点や、改修費が低コストだという意見があった。一方、動線やレイアウト、バリアフリーの問題が解決しない点や、利用者、利用時期に対しての費用対効果に課題がある点も意見として挙げられた。
- ◆【案2】について、屋内・屋外両方使えることのメリットがある一方で、コストが高くなることを懸念する意見もあった。
- ◆【案3】について、プールの通年利用やバリアフリー化などの施設整備面の改善の他に、イベントや大会の開催時や災害時など、敷地の整備・有効活用の視点からの肯定的な意見が出された。一方、屋外プールがなくなることや、50mプールでの大会実施ができなくなるなどの意見もあった。
- ◆ワークショップでは、各案についての良い点、悪い点の検討だけでなく、整備全体に関わる内容についての意見もあり、参加者自身が市営プールのあり方をより深く考える機会にもなった。

2 アンケート調査

(中表紙裏面 白紙)

(1) アンケート調査結果

I 調査の概要

1 調査の目的

武蔵野市営プールは竣工から 33 年以上が経過しており、施設の老朽化に伴い、整備の検討が必要な時期となっている。昨年度、市は市民の意見を参考として、第二期武蔵野市スポーツ推進計画を策定している。

本調査は、第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された市営プールの整備の方向性に対する市民の意見や要望を把握し、武蔵野市第六期長期計画・調整計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象・方法

調 査 対 象	市内在住の 16 歳以上の 2,000 人
抽 出 方 法	住民基本台帳による地域別・年代別によって無作為に抽出
調 査 手 法	郵送配布・郵送回収（インターネットによる回答も可）
調 査 時 期	令和 4 年 8 月～9 月

3 回収結果

配 布 数	2,000 部
回 答 数	627 件（郵送回答 423 件、インターネット回答 204 件）
回 収 率	31.4%

4 調査結果を読む際の注意点

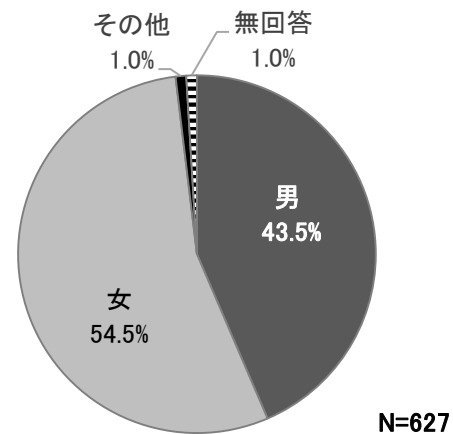
- 図表内の「N」は、設問に対する回答者の合計数である。
- 集計は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示しているため、単一回答の設問であっても、割合の合計が 100.0%とならない場合がある。
- 複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を分母として選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が 100.0%を上回る場合がある。
- クロス集計表の「全体」の N は、無回答者を除いて表示しているため、各設問における単純集計結果の N と一致しない場合がある。

Ⅱ 調査結果

1 基本属性

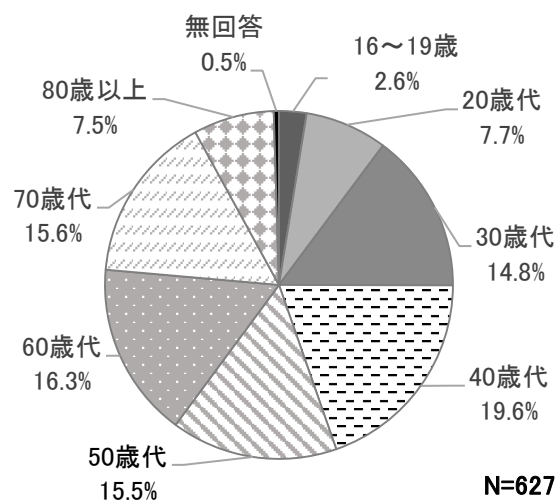
問1 性別をお答えください。(○は1つ)

回答者の性別は、男性が 43.5%、女性が 54.5%であった。



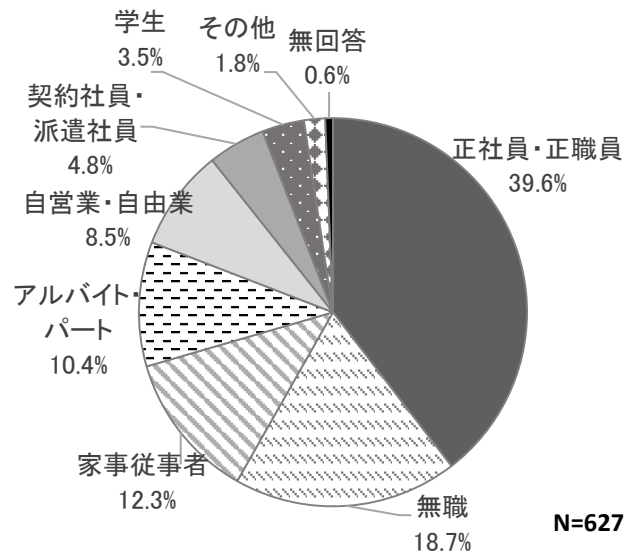
問2 年齢をお答えください。(○は1つ)

回答者の年代は、「16～19歳」が 2.6%、「20歳代」が 7.7%、「30歳代」が 14.8%、「40歳代」が 19.6%、「50歳代」が 15.5%、「60歳代」が 16.3%、「70歳代」が 15.6%、「80歳以上」が 7.5%であった。



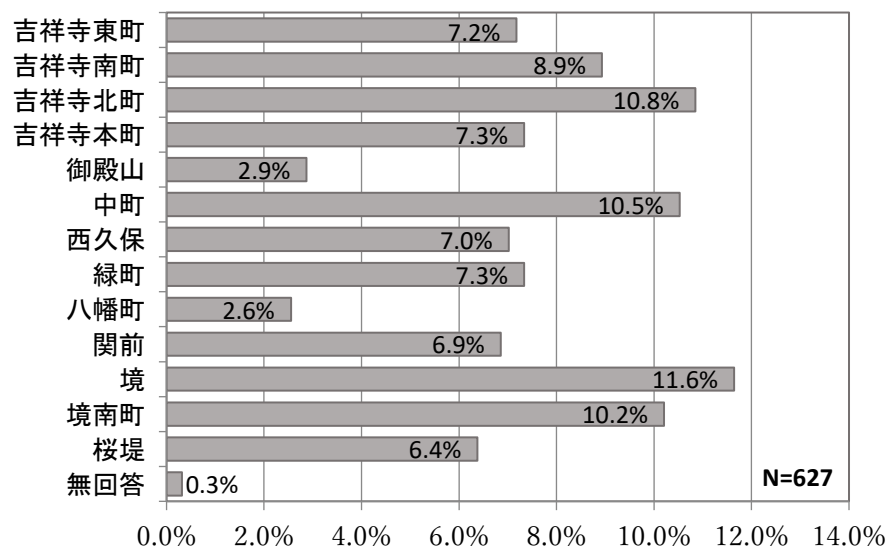
問3 職業をお答えください。(○は1つ)

回答者の職業は、「正社員・正職員」が最も多く、39.6%であり、次いで「無職」18.7%、家事従事者12.3%、アルバイト・パート10.4%と続く。その他には、「会社役員」、「顧問」、「アパート経営」などがあつた。



問4 お住いの地区をお答えください。(○は1つ)

回答者の居住地は、「境」が最も多く、11.6%であり、次いで「吉祥寺北町」10.8%、「中町」10.5%、「境南町」10.2%と続く。



2-1 プール施設利用状況

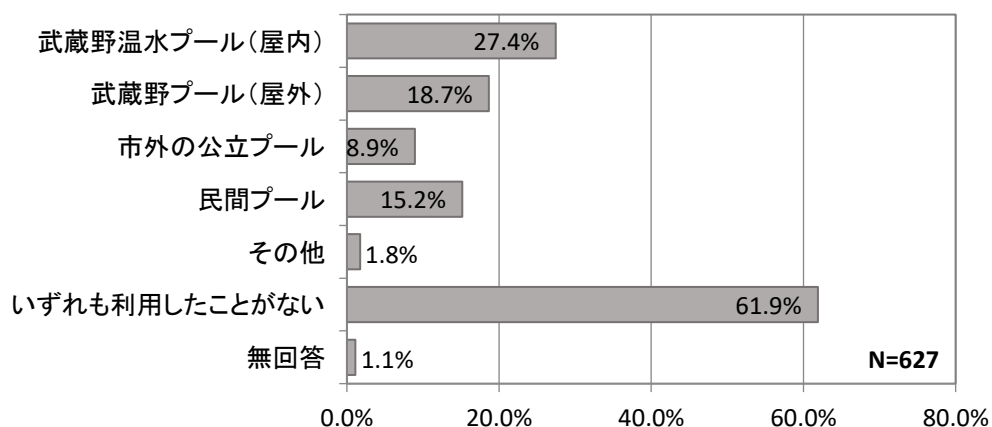
問5 過去3年程度で下記のプール施設のうち、どの施設を利用したことがありますか。
(〇はいくつでも)

過去3年間の利用したプール施設として、最も多い回答は「いずれも利用したことがない」の61.9%であった。回答者のうち、「武蔵野温水プール(屋内)」を利用した割合は27.4%、「武蔵野プール(屋外)」を利用した割合は18.7%、「民間プール」を利用した割合は15.2%であった。その他には、「旅先のプール」や「ジムのプール」などの回答があった。

男女別では、プールの利用者は女性より男性の方が多く、利用したことがない割合は、男性が54.9%に対して、女性は68.1%であった。

年代別では、10～19歳の利用率が最も高く、62.5%（50.0%）がいずれかのプール施設を利用していることが分かった。次に利用率が高かったのは40歳代の55.3%（42.3%）で、50歳代48.5%（35.1%）、30歳代36.6%（24.7%）と続く。一方で、20歳代の利用率が最も低く、いずれの施設も利用したことのない割合は、87.5%であった。

*カッコ内は武蔵野温水プール(屋内)の割合。



	いずれかの施設を利用したことがある※1	武蔵野温水プール（屋内）	武蔵野プール（屋外）	市外の公立プール	民間プール	その他	いずれも利用したことがない	無回答
全体(n=627)	38.1%	27.4%	18.7%	8.9%	15.2%	1.8%	61.9%	1.1%
性別								
男(n=273)	45.1%	33.7%	26.4%	9.2%	15.8%	1.8%	54.9%	0.7%
女(n=342)	31.9%	22.2%	12.0%	8.2%	14.0%	1.5%	68.1%	0.9%
その他(n=6)	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
年齢								
16～19歳(n=16)	62.5%	50.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%	0.0%
20歳代(n=48)	12.5%	8.3%	10.4%	2.1%	0.0%	2.1%	87.5%	0.0%
30歳代(n=93)	36.6%	24.7%	17.2%	11.8%	19.4%	2.2%	63.4%	0.0%
40歳代(n=123)	55.3%	42.3%	27.6%	15.4%	22.0%	2.4%	44.7%	0.0%
50歳代(n=97)	48.5%	35.1%	27.8%	16.5%	22.7%	4.1%	51.5%	0.0%
60歳代(n=102)	29.4%	19.6%	11.8%	3.9%	15.7%	1.0%	70.6%	1.0%
70歳代(n=98)	27.6%	17.3%	11.2%	3.1%	6.1%	0.0%	72.4%	4.1%
80歳以上(n=47)	29.8%	27.7%	12.8%	0.0%	4.3%	0.0%	70.2%	0.0%

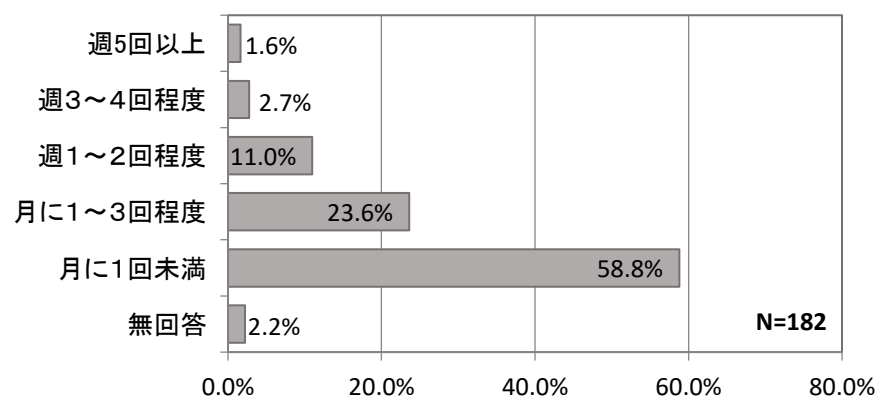
※1）「いずれかの施設を利用したことがある」は相対度数で、全体から「いずれも利用したことがない」と「無回答」を差し引いた数値

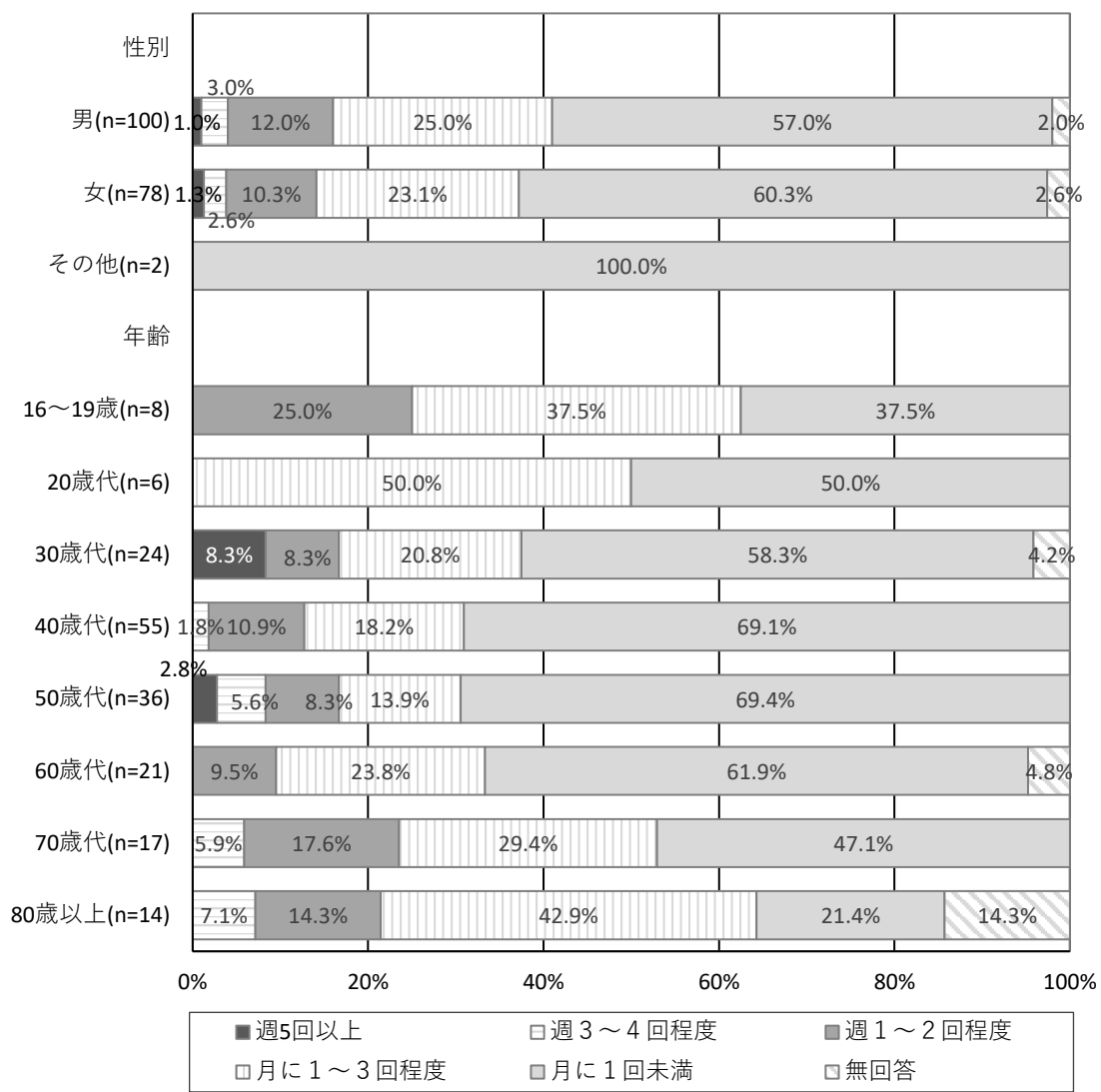
問6 市営プールの利用頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

*** 問5で「1」、「2」を選択した方のみ対象**

市営プールを利用したことがあると回答した 182 人のうち、市営プールの利用頻度については、「月に1回未満」の回答者が最も多く、58.8%であった。その他には、男女別では、利用頻度に大きな差は見られなかった。

年代別では、10～19 歳は、利用頻度が分散し、「週1～2回程度」が 25.0%、「月に1～3回程度」が 37.5%、「月に1回未満」が 37.5%であった。最も回答が多かった「月に1回未満」について、回答した割合が高い年代は、50 歳代 69.4%、40 歳代 69.1%、60 歳代 61.9%、30 歳代 58.3%であった。





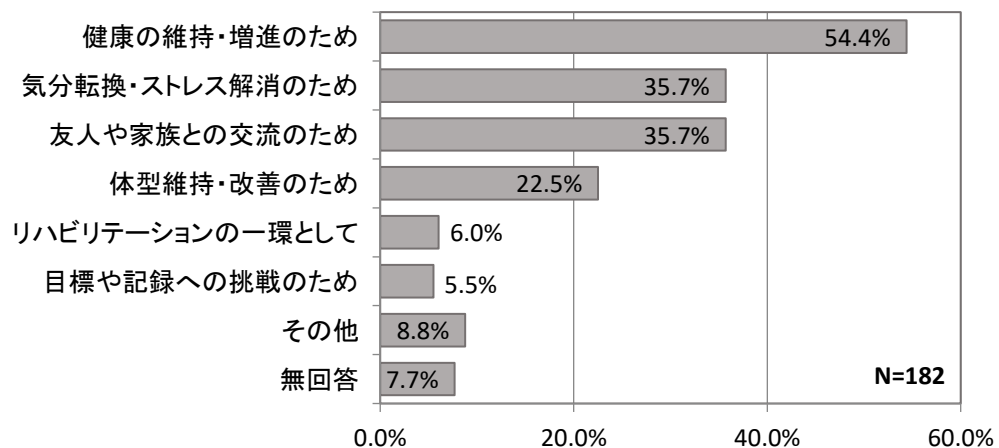
問7 市営プールを利用する目的はなんですか。(〇はいくつでも)

* 問5で「1」、「2」を選択した方のみ対象

市営プールの利用目的として、「健康の維持・増進のため」が最も多く、54.4%であった。「気分転換・ストレス解消のため」、「友人や家族との交流のため」がそれぞれ35.7%、「体型維持・改善のため」が22.5%であった。その他には、「プール教室」や「子どもの付き添い」などの回答があった。

男女ともに、健康の維持・増進のためを目的とする割合が高く、男性が58.0%、女性が50.0%であった。男女別では、気分転換・ストレス解消を目的とする割合は、男性が42.0%、女性が26.9%である。一方で、友人や家族との交流を目的とする割合は、男性が26.0%、女性が46.2%であった。

年齢別では、30歳代の75.0%が「友人や家族との交流のため」と回答し、41.7%が「健康の維持・増進のため」と回答した。一方、60歳代の9.5%が「友人や家族との交流のため」と回答し、66.7%が「健康の維持・増進のため」と回答し、「友人や家族との交流のため」を目的とする割合は、年代が上がるごとに低くなり、「健康の維持・増進のため」を目的とする割合は、年代が上がるごとに高くなった。



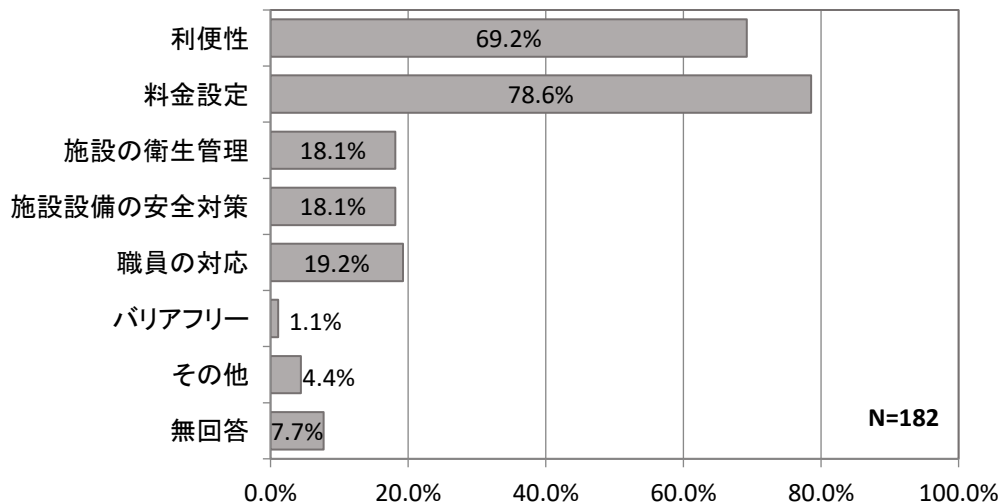
	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	友人や家族との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他	無回答
全体(n=182)	54.4%	35.7%	35.7%	22.5%	6.0%	5.5%	8.8%	7.7%
性別								
男(n=100)	58.0%	42.0%	26.0%	25.0%	5.0%	6.0%	9.0%	10.0%
女(n=78)	50.0%	26.9%	46.2%	17.9%	6.4%	3.8%	9.0%	5.1%
その他(n=2)	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢								
16～19歳(n=8)	25.0%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%
20歳代(n=6)	66.7%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=24)	41.7%	29.2%	75.0%	25.0%	4.2%	8.3%	0.0%	4.2%
40歳代(n=55)	41.8%	27.3%	49.1%	23.6%	1.8%	7.3%	16.4%	5.5%
50歳代(n=36)	61.1%	38.9%	27.8%	22.2%	5.6%	2.8%	11.1%	11.1%
60歳代(n=21)	66.7%	47.6%	9.5%	19.0%	14.3%	0.0%	9.5%	14.3%
70歳代(n=17)	88.2%	41.2%	17.6%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
80歳以上(n=14)	57.1%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%

問 8 市営プールを利用してよいと感じる点を教えてください。(〇はいくつでも)
 * 問 5 で「1」、「2」を選択した方のみ対象

市営プールの良い点として、「料金設定」が 78.6%、「利便性」が 69.2%であった。その他には、「監視の目が行き届いている」や「水泳教室」、「ネットでの予約システム」などの回答があった。

男女別では、よいと感じる点に大きな差は見られなかった。

年代別では、全年代を通して、「利便性」への満足度が高く、最も高い 70 歳代の満足度は、82.4%であった。「料金設定」への満足度は、「利便性」よりも高く、30 歳代から 70 歳代では、72.2~91.7%をであった。一方で 16~19 歳は 50%、20 歳代は 33.3%と他年代と比較して低かった。



	利便性	料金設定	施設の衛生管理	施設設備の安全対策	職員の対応	バリアフリー	その他	無回答
n=182	69.2%	78.6%	18.1%	18.1%	19.2%	1.1%	4.4%	7.7%
性別								
男(n=100)	69.0%	76.0%	18.0%	20.0%	20.0%	2.0%	5.0%	11.0%
女(n=78)	71.8%	80.8%	17.9%	15.4%	19.2%	0.0%	3.8%	3.8%
その他(n=2)	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢								
16~19歳(n=8)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%
20歳代(n=6)	66.7%	33.3%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
30歳代(n=24)	70.8%	91.7%	12.5%	16.7%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%
40歳代(n=55)	74.5%	85.5%	12.7%	14.5%	20.0%	0.0%	5.5%	5.5%
50歳代(n=36)	63.9%	72.2%	22.2%	19.4%	19.4%	0.0%	2.8%	13.9%
60歳代(n=21)	66.7%	81.0%	23.8%	4.8%	14.3%	0.0%	9.5%	9.5%
70歳代(n=17)	82.4%	88.2%	35.3%	41.2%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
80歳以上(n=14)	57.1%	64.3%	21.4%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%

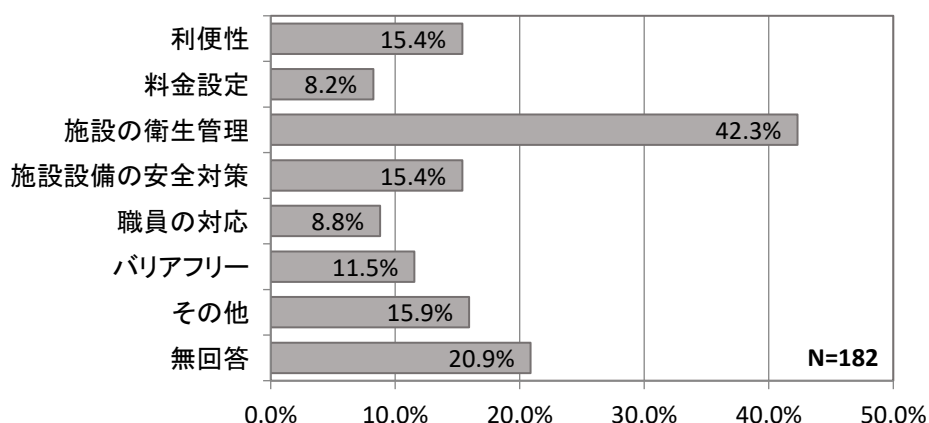
問9 市営プールを利用して改善してほしいと感じる点を教えてください。
(〇はいくつでも)

* 問5で「1」、「2」を選択した方のみ対象

市営プールの改善点として、「施設の衛生管理」が最も多く、42.3%であった。その他には、「更衣室を清潔にしてほしい」や「におい」、「開館時間・期間を長くしてほしい」などの回答があった。

男女別では、男性より女性の方が「施設の衛生管理」に対する不満の割合が高く、男性が32.0%であった一方、女性は56.4%であった。

年代別では、全年代を通して、「施設の衛生管理」に対する不満が高く、特に20歳代から50歳代では45～55%程度であった。また、高齢の年代ほど、「施設整備の安全対策」に対する回答の割合が高い傾向となった。



	利便性	料金設定	施設の衛生管理	施設設備の安全対策	職員の対応	バリアフリー	その他	無回答
全体(n=182)	15.4%	8.2%	42.3%	15.4%	8.8%	11.5%	15.9%	20.9%
性別								
男(n=100)	16.0%	9.0%	32.0%	13.0%	8.0%	9.0%	16.0%	28.0%
女(n=78)	15.4%	5.1%	56.4%	17.9%	10.3%	15.4%	15.4%	12.8%
その他(n=2)	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
年齢								
16～19歳(n=8)	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	50.0%	12.5%
20歳代(n=6)	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%
30歳代(n=24)	16.7%	12.5%	54.2%	8.3%	12.5%	8.3%	8.3%	8.3%
40歳代(n=55)	20.0%	5.5%	45.5%	10.9%	5.5%	7.3%	20.0%	20.0%
50歳代(n=36)	13.9%	5.6%	47.2%	13.9%	16.7%	16.7%	11.1%	25.0%
60歳代(n=21)	19.0%	4.8%	33.3%	28.6%	9.5%	19.0%	14.3%	23.8%
70歳代(n=17)	5.9%	11.8%	41.2%	29.4%	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%
80歳以上(n=14)	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%

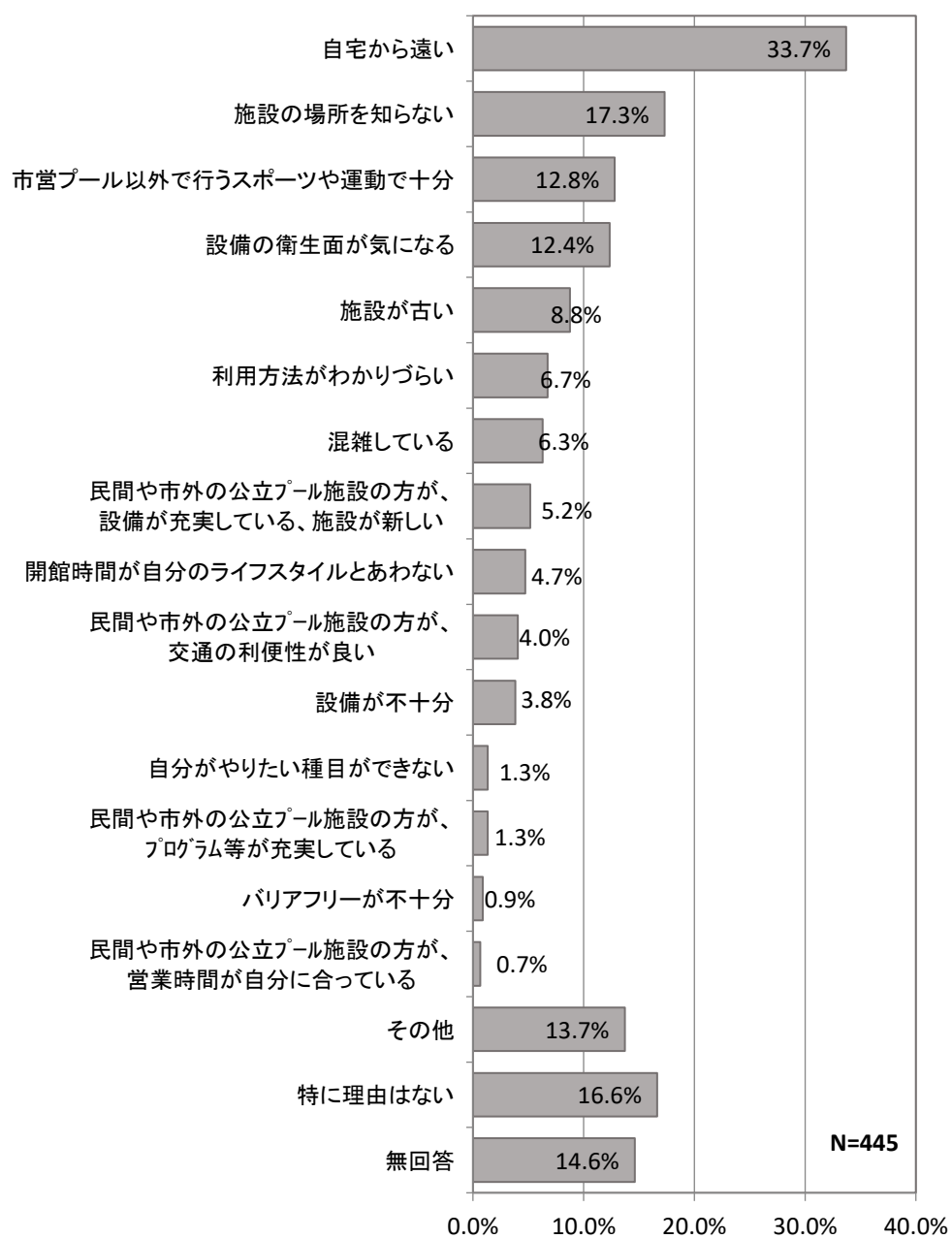
問10 市営プールを利用しない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

* 問5で「1」、「2」以外を選択した方のみ対象

市営プールを利用したことがないと回答した 455 人のうち、市営プールを利用しない理由として、「自宅から遠い」が最も多く、33.7%であり、次いで「施設の場所を知らない」17.3%、「特に理由はない」16.6%と続く。「自分がやりたい種目ができない」と回答した回答者のやりたい種目として、「介助付きでの歩行」、「水中ウォーキング」などがあつた。他の利用施設として、「府中市学習センター」、「小金井市栗山公園プール」、「民間のジム」などがあつた。その他には、「子どもが小さいため」や「コロナだから」などの回答があつた。

男女別では、施設の古さや設備の衛生面について回答する割合が男性より女性の方が高かつた。

年代別では、20歳代と30歳代が市民プールを利用しない理由に「施設の場所を知らない」と回答する割合が他の世代よりも高かつた。

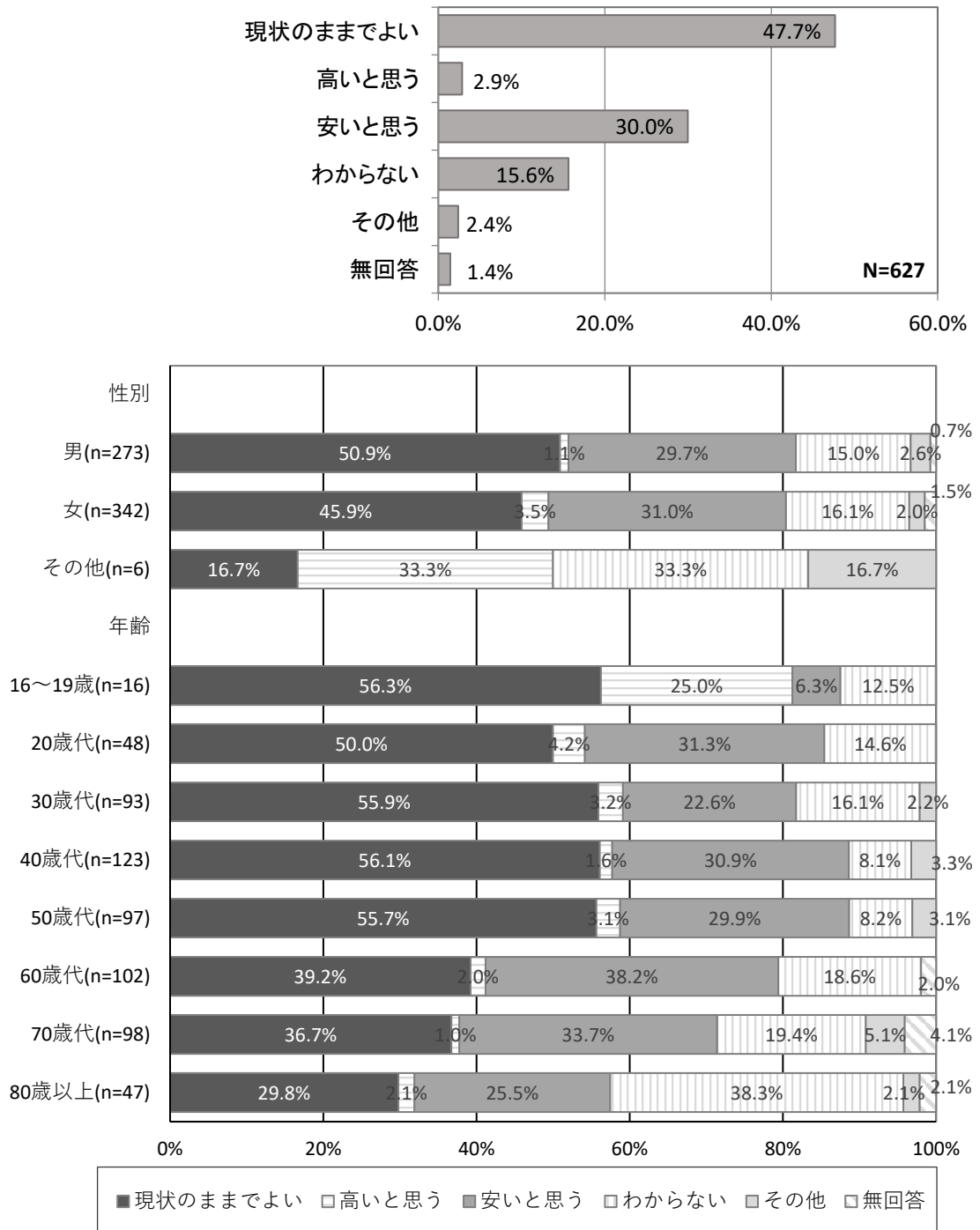


	施設の場所を知らない	利用方法がわかりづらい	自宅から遠い	開館時間が自分のライフスタイルとあわない	設備が不十分	バリアフリーが不十分	施設が古い	設備の衛生面が気になる	自分がやりたい種目ができない	混雑している	市営プール以外で行うスポーツや運動で十分	民間や市外の公立プール施設の方が、プログラム等が充実している	民間や市外の公立プール施設の方が、設備が充実している、施設が新しい	民間や市外の公立プール施設の方が、営業時間が自分に合っている	民間や市外の公立プール施設の方が、交通の利便性が良い	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=445)	17.3%	6.7%	33.7%	4.7%	3.8%	0.9%	8.8%	12.4%	1.3%	6.3%	12.8%	1.3%	5.2%	0.7%	4.0%	13.7%	16.6%	14.6%
性別																		
男 (n=173)	18.5%	9.2%	30.6%	5.8%	1.7%	1.2%	5.8%	8.1%	1.2%	7.5%	16.8%	0.6%	7.5%	1.2%	1.2%	9.8%	18.5%	15.0%
女 (n=264)	17.0%	5.3%	35.6%	3.8%	4.9%	0.8%	10.6%	15.2%	1.5%	5.7%	10.6%	1.9%	3.4%	0.4%	6.1%	16.7%	15.2%	13.6%
その他 (n=4)	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
年齢																		
16～19歳 (n=8)	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%
20歳代 (n=42)	50.0%	7.1%	26.2%	2.4%	4.8%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	2.4%	7.1%	0.0%	2.4%	0.0%	4.8%	7.1%	11.9%	11.9%
30歳代 (n=69)	31.9%	18.8%	34.8%	7.2%	8.7%	2.9%	10.1%	24.6%	0.0%	14.5%	7.2%	1.4%	10.1%	1.4%	4.3%	11.6%	5.8%	17.4%
40歳代 (n=68)	10.3%	4.4%	35.3%	7.4%	5.9%	0.0%	13.2%	11.8%	0.0%	7.4%	16.2%	0.0%	5.9%	1.5%	2.9%	11.8%	16.2%	13.2%
50歳代 (n=61)	11.5%	4.9%	34.4%	9.8%	3.3%	0.0%	11.5%	14.8%	0.0%	6.6%	18.0%	3.3%	3.3%	1.6%	3.3%	13.1%	18.0%	16.4%
60歳代 (n=81)	14.8%	2.5%	43.2%	3.7%	3.7%	0.0%	9.9%	11.1%	1.2%	7.4%	13.6%	2.5%	2.5%	0.0%	3.7%	4.9%	22.2%	11.1%
70歳代 (n=81)	4.9%	7.4%	30.9%	0.0%	0.0%	1.2%	3.7%	4.9%	4.9%	2.5%	16.0%	1.2%	4.9%	0.0%	6.2%	23.5%	18.5%	14.8%
80歳以上 (n=33)	9.1%	0.0%	27.3%	3.0%	0.0%	3.0%	6.1%	6.1%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	9.1%	0.0%	3.0%	30.3%	24.2%	12.1%

問 11 市営プールの現在の使用料金をどう思われますか。(〇は1つ)

市営プールの料金設定として、「現状のままでよい」が47.7%、「安いと思う」が30.0%、「高いと思う」が2.9%であった。その他には、「市外利用者の料金を上げる」や「学生の料金を下げる」などの回答があった。

男女別では、使用料金に対する意見に大きな差は見られなかった。年代別では、16～50 歳代にかけて「現状のままでよい」と回答する割合が過半数を超えており、次に16～19 歳と80 歳代を除いた年代で、「安いと思う」と回答する割合が高かった。

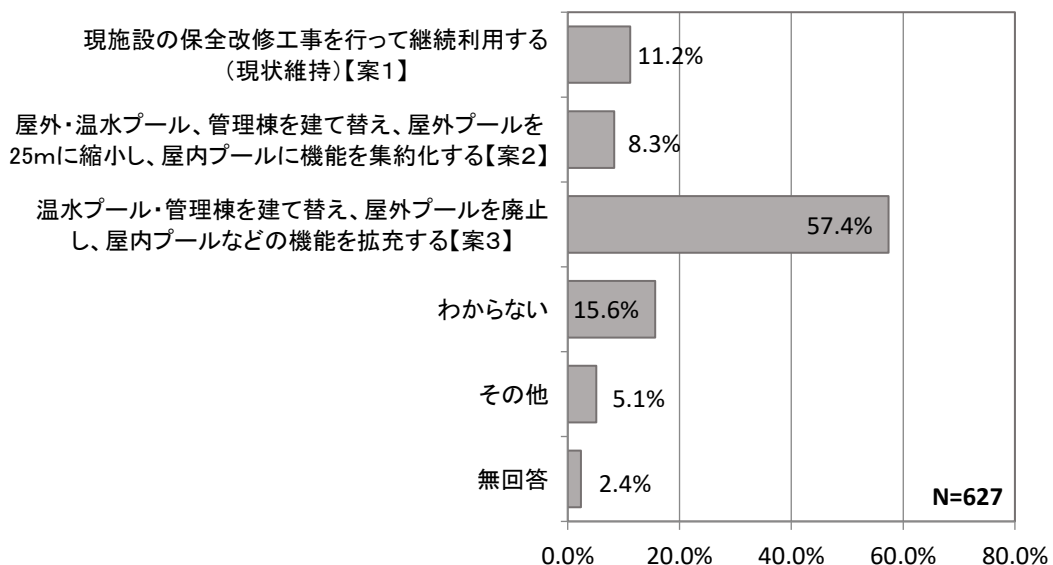


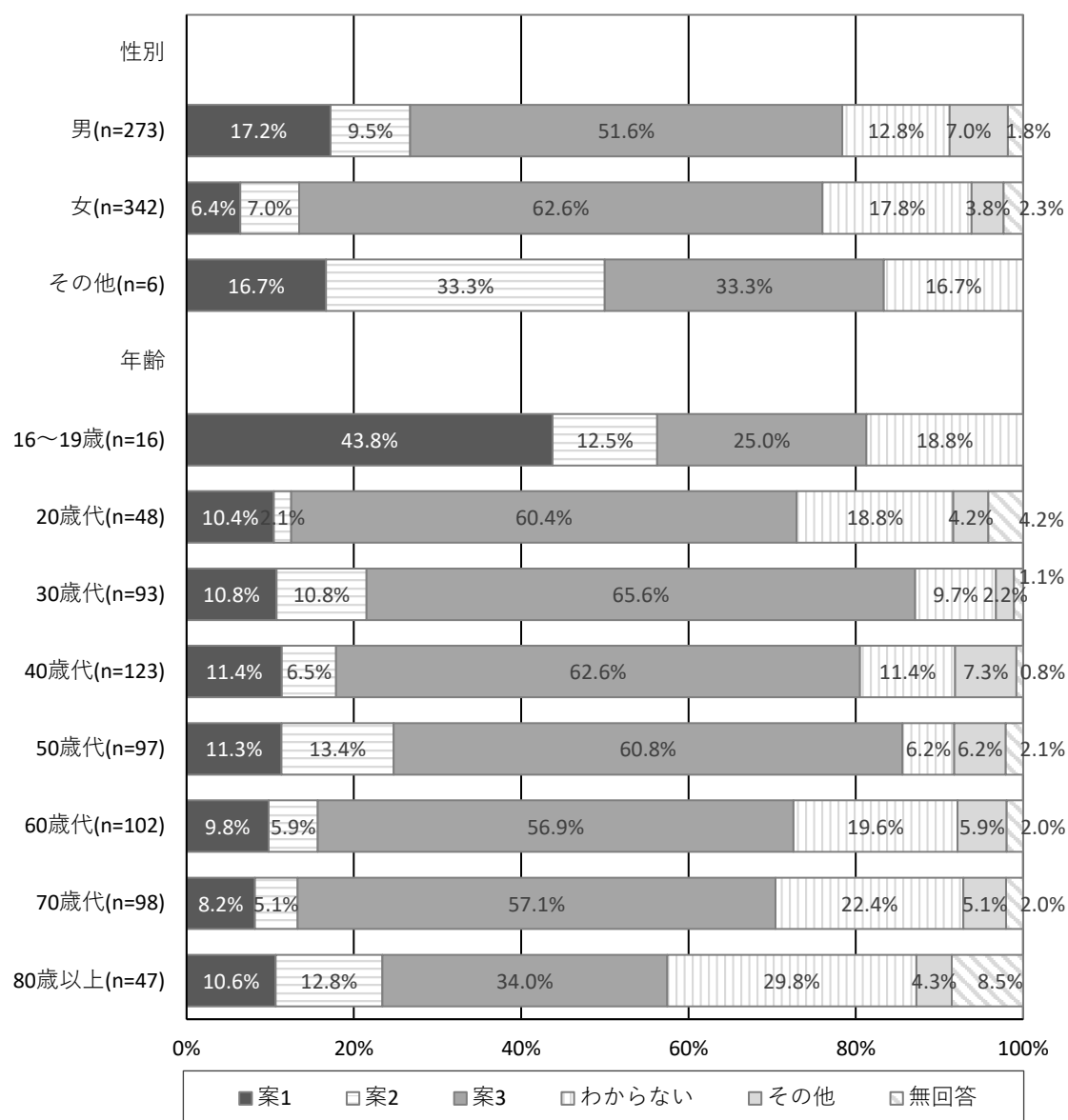
問 12 市営プールの整備の方向性として、第二期スポーツ推進計画で示した整備検討案のうち、あなたのお考えに合うものをお答えください。

市営プールの整備検討案に対する意見として、「温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案3】」が 57.4%、「現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）【案1】」が 11.2%、「屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを 25m に縮小し、屋内プールに機能を集約化する【案2】」が 8.3%であった。「案1」を選択した理由に、「50m プールは貴重であるから」や「コストが掛からないから」などの回答があった。「案2」を選択した理由に、「屋外プールは残したい」や「子どものために屋外プールはあった方がよい」などの回答があった。「案3」を選択した理由に、「コスト面のバランスと、メリットが多いこと」や「時期や天候に左右されずに使えるから」などの回答があった。

男女別では、「案1」と回答する割合は、男性が 17.2%、女性が 6.4%であった一方で、「案3」と回答する割合は、男性が 51.6%、女性が 62.6%であり 10 ポイントほどの違いがあった。

年代別では、16～19 歳は「案1」と回答する割合が 43.8%、「案3」と回答する割合が 25.0%であった。一方、20 歳代以上の年代では、「案3」と回答する割合が 60%程度であった。





問 13 市営プールの整備における機能拡充について重視したい点をお答えください。

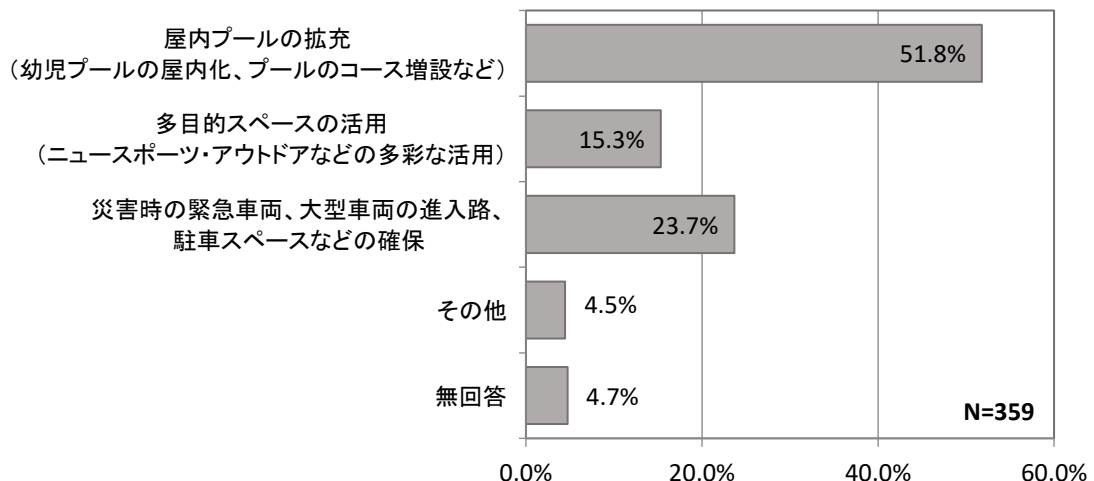
(○は1つ)

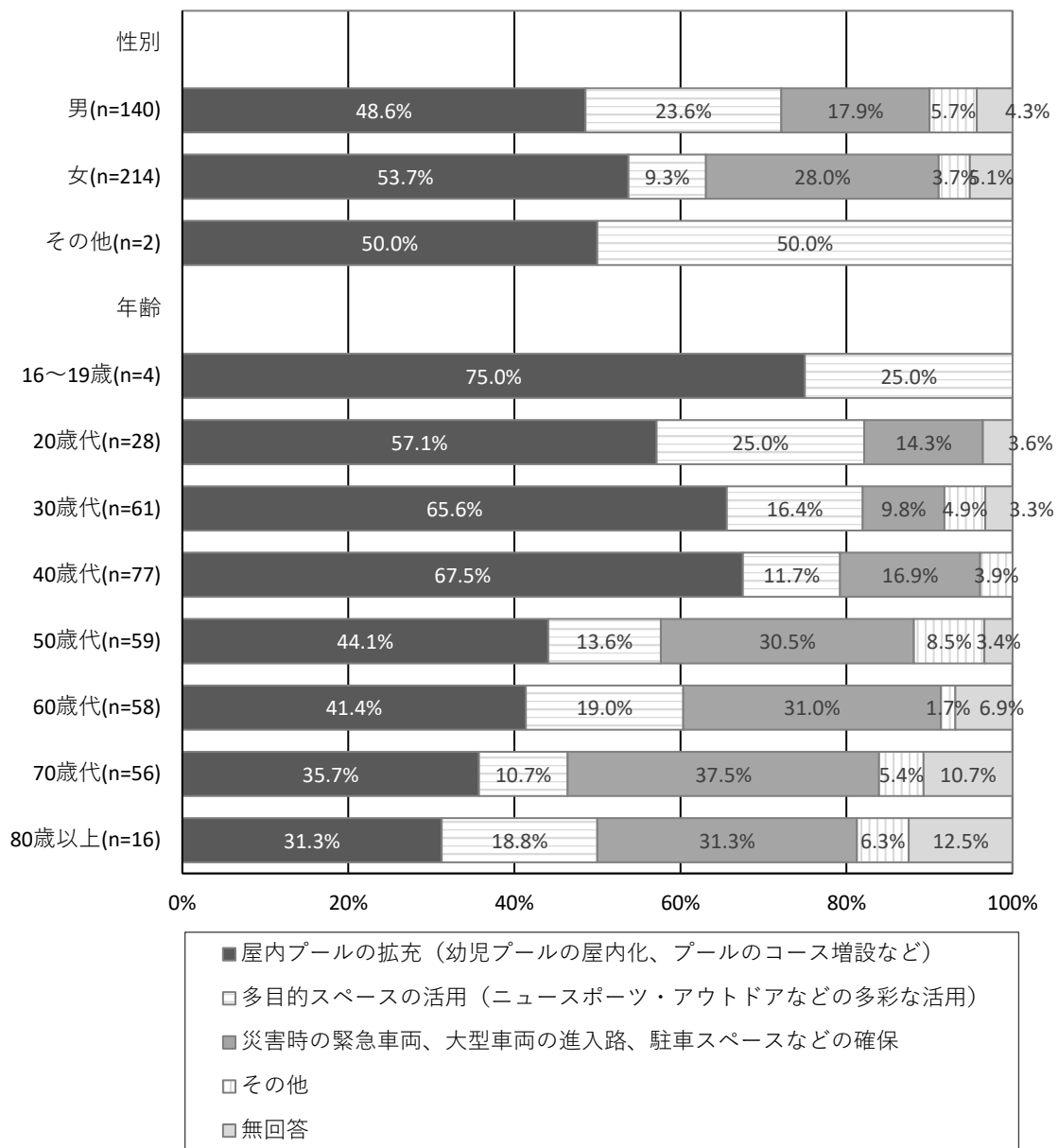
* 問 12 の「3」対象

「温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案3】」と回答した人について、プール整備の機能拡充で重視する点として、「屋内プールの拡充（幼児プールの屋内化、プールのコース増設など）」が 51.8%、「災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースなどの確保」が 23.7%、「多目的スペースの活用（ニュースポーツ・アウトドアなどの多彩な活用）」が 15.3%であった。その他には、「流れるプールやスライダーの増築」や「今後の維持管理費に充てる」などの回答があった。

男女別では、男女ともに屋内プールの拡充を重視しており、50%前後であった。次に求められているものとして、男性では、「多目的スペース」23.6%、「災害時の車両のスペース確保」17.9%であったが、女性では、「多目的スペース」9.3%、「災害時の車両スペースの確保」28.0%であった。

年代別では、16～19 歳から 40 歳代は「屋内プールの拡充」と回答する割合が高く、57.1%～75.0%であった。16～19 歳から 30 歳代で 2 番目に高かったのは、「多目的スペースの活用」で、そのうち 16～19 歳、20 歳代の回答割合は 25.0%であった。一方で、50 歳代以上の世代では、「災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースなどの確保」の回答割合が 30.5%～37.5%と高くなり、「屋内プールの拡充」の 31.3%～44.1%と同程度の割合となっている。





2-2 全体の傾向

- 利用施設に関する質問から、4割近い回答者は、3年以内に1度はプールを利用しており、一定のニーズがあることが分かった。
- 市営プールの利用頻度に関する質問から、市営プールを利用したことがあると回答した方のうち、4割程度が月に1回以上の利用をしていることが分かった。
- 市営プールの利用目的については、健康面を目的とした利用が大半であることが分かった。
- 市営プールの良い点に関する質問から、利用する理由には料金設定や利便性が大きく影響していることが分かった。
- 市営プールの改善点については、施設の衛生面への不満が最も多く、次いで利便性や安全面、バリアフリー面に改善が求められていることが分かった。
- 市営プールを利用しない理由としては、施設へのアクセスの不便さが最も多い。
- 利用料金については、8割近い回答者が、現在の使用料金について、妥当もしくは安いと感じている。
- 市営プールの整備検討案に関する質問から、6割近い回答者は、市営プールの整備方針は、「温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する」【案3】が望ましいと考えていることが分かった。

2-3 男女の傾向

- プール利用者は、女性より男性の方が15%程度高い状況であった。不満点においては半数以上の女性が施設の衛生管理に不満を持っており、また、利用しない理由においても施設の古さや設備の衛生面について回答する割合が男性より女性の方が高かった。
- 利用目的では、男性は気分転換・ストレス解消を目的としている割合が高い一方で、女性は友人や家族との交流を目的としている割合が高いことから、女性は、家族や友人を含めて複数人で利用する傾向があると言える。
- 整備検討案について【案3】と回答した割合は、男女ともに過半数を超えており、特に女性では6割を超えていた。また、機能拡充では、男女ともに屋内プールの拡充が50%前後であった。次に求められているものとしては、男性では多目的スペースの回答が、女性では災害時の車両スペースの確保とする回答が多く、男女で違いが見られた。

2-4 年代の傾向

- 16～19歳は、プールの利用率が高く、市営プール利用者は他年代と比較すると多い頻度で利用していることが分かった。また、気分転換・ストレス解消、友人や家族との交流を目的としている。現状の市営プールに対して、利便性や料金設定に良さを感じている一方で、料金が低いと回答する割合が他年代より高い傾向にある。整備検討案に対しては、現状維持の割合が高くなっている。この年代は、屋外プールの利用率が全世代の中で最も高く（次に高い50歳代より10ポイント以上高い）、このことが影響していると考えられる。
- 20歳代は、プールを利用する割合が全世代の中で最も低いことが分かった。また、健康の維持・増進、気分転換・ストレス解消、体形維持・改善のためを目的としている。利用

者は利便性や職員の対応に良さを感じている一方で、利用しない理由に半数の回答者は施設の場所を知らないと回答した。

○30 歳代と 40 歳代は、市営プールの利用率に差があるものの、利用者の回答には似た傾向が見られた。友人や家族との交流を目的としている割合が他世代より高い傾向にあり、親子での利用が多いと考えられる。利用者は、利便性と料金設定に良さを感じている一方で、30 歳代が利用しない理由に、施設の場所を知らないと回答する他に、利用方法が分かりづらいと回答する割合が他年代より高いことが分かった。

○50 歳代は、プールを利用する割合が 40 歳代に次いで高いことが分かった。利用目的は健康の維持・増進のためとする割合が高くなる一方で、友人や家族との交流を目的とする割合は低くなった。また、30 歳代、40 歳代と同様に利便性と料金設定に良さを感じている。

○60 歳代、70 歳代、80 歳以上では、年代を追うごとに利用頻度は高くなることが分かった。主な目的は健康の維持・増進のためであり、60 歳代と 70 歳代では、気分転換・ストレス解消が、80 歳代では、リハビリテーションを目的とする割合が高くなる。また、これらの年代では、安全対策やバリアフリーに関して不満を持つ割合が高くなっており、高齢者に対応する施設整備が求められている。

○全年代を通して、施設の衛生管理に対して不満を持っており、整備においては、衛生管理がしやすい計画とすることが求められている。

3 整備検討案について

	現施設の保全 改修工事を 行って継続利 用する (現状維持) 【案1】	屋外・温水 プール、管理 棟を建て替 え、屋外プ ールを25mに縮 小し、屋内 プールに機能 を集約化する 【案2】	温水プール・ 管理棟を建て 替え、屋外 プールを廃止 し、屋内プ ールなどの機能 を拡充する 【案3】	わからない	その他	無回答
利用施設						
武蔵野温水プール（屋内）(n=172)	19.2%	16.9%	49.4%	7.0%	5.2%	2.3%
武蔵野プール（屋外）(n=117)	28.2%	23.9%	36.8%	4.3%	5.1%	1.7%
市外の公立プール(n=56)	19.6%	10.7%	51.8%	8.9%	7.1%	1.8%
民間プール(n=95)	14.7%	11.6%	61.1%	5.3%	6.3%	1.1%
その他(n=11)	9.1%	18.2%	54.5%	0.0%	18.2%	0.0%
いずれも利用したことがない(n=388)	7.5%	4.4%	59.8%	20.9%	4.9%	2.6%
利用目的						
健康の維持・増進のため(n=99)	20.2%	21.2%	46.5%	7.1%	2.0%	3.0%
気分転換・ストレス解消のため(n=65)	24.6%	20.0%	44.6%	3.1%	4.6%	3.1%
友人や家族との交流のため(n=65)	15.4%	23.1%	41.5%	10.8%	7.7%	1.5%
体型維持・改善のため(n=41)	26.8%	17.1%	46.3%	2.4%	4.9%	2.4%
リハビリテーションの一環として (n=11)	27.3%	0.0%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%
目標や記録への挑戦のため(n=10)	40.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%
その他(n=16)	25.0%	0.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%
改善点						
利便性(n=28)	17.9%	21.4%	46.4%	10.7%	3.6%	0.0%
料金設定(n=15)	26.7%	26.7%	26.7%	13.3%	0.0%	6.7%
施設の衛生管理(n=77)	9.1%	15.6%	58.4%	7.8%	7.8%	1.3%
施設設備の安全対策(n=28)	10.7%	32.1%	39.3%	14.3%	3.6%	0.0%
職員の対応(n=16)	18.8%	18.8%	31.3%	25.0%	6.3%	0.0%
バリアフリー(n=21)	23.8%	28.6%	38.1%	4.8%	4.8%	0.0%
その他(n=29)	27.6%	13.8%	44.8%	10.3%	3.4%	0.0%
利用料金						
現状のままでよい(n=299)	14.4%	10.7%	58.2%	12.0%	3.7%	1.0%
高いと思う(n=18)	27.8%	11.1%	38.9%	5.6%	5.6%	11.1%
安いと思う(n=188)	7.4%	6.9%	69.7%	6.9%	8.0%	1.1%
わからない(n=98)	4.1%	4.1%	35.7%	46.9%	4.1%	5.1%
その他(n=15)	20.0%	6.7%	60.0%	6.7%	6.7%	0.0%

3-1 利用施設ごとの整備方針の傾向

○利用した施設との比較では、市営プールを利用したことがある回答者は、屋外プールの必要性を感じている割合が高くなる傾向にあるが、どの施設利用者も【案3】と回答する割合が高かった。また、民間プール利用者は、【案3】と回答する割合が最も高く、機能を重視していることが分かった。

3-2 利用目的ごとの整備方針の傾向

○市民プールの利用目的との比較では、目標や記録への挑戦を目的にしている回答者は、【案1】と回答する割合と【案3】と回答する割合が同じであった。また、その他どの利用目的を回答した者も【案3】を回答する割合が最も高かった。

3-3 施設の改善点ごとの整備方針の傾向

○施設の改善点との比較では、施設の衛生管理に不満を持っている回答者が【案3】と回答する割合が高く、【案1】の割合が低かった。また、安全対策に不満を持っている回答者は、【案2】と【案3】に分かれたものの、【案1】の回答割合が低かった。このことから、衛生面やバリアフリー、安全対策面での整備が望まれていることが分かった。

3-4 利用料金ごとの整備方針の傾向

○利用料金との比較では、「現状のままでよい」とする回答者と「安いと思う」とする回答者が【案3】と回答する割合が高くなった。

4 参考資料（その他の回答・案１～３を選択した理由・自由意見）

その他の回答・案１～３を選択した理由・自由意見として寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して紹介します。なお、文章は原文を基本としていますが、誤字・脱字、句読点の修正のほか、意味が通じにくい部分は意見の趣旨を損なわない形で修正している場合があります。

問８（市営プールを利用してよいと感じる点を教えてください。）のその他の回答

- ・ 屋外
- ・ 水泳教室
- ・ 監視員の目が行き届いているので、子どもの利用も安心
- ・ 職員が多い
- ・ ネットでの予約システム
- ・ 行きやすいという意味での利便

問９（市営プールを利用して改善してほしいと感じる点を教えてください。）のその他の回答

- ・ 外のシャワーも温水にしてほしい
- ・ シャワー室の石鹸使用可能にしてほしい
- ・ 更衣室を広くしてほしい
- ・ 脱衣所、トイレの改修
- ・ 休憩時間を増やすこと
- ・ 更衣室の床を清潔にしてほしい
- ・ セキュリティ
- ・ 屋外をもっと長時間、長期間利用できるようにしてほしい
- ・ 開館時間が遅い
- ・ 参加しやすいプログラム
- ・ 心拍計付きのスマートウォッチの着用を認めて欲しい
- ・ 子どもでも使いやすいロッカー
- ・ プールの出入り口とロッカーとの距離が長く、冬が特に寒くて困る

問 10（市営プールを利用しない理由を教えてください。）の自由回答

【（9 自分がやりたい種目ができない）を選択した方のやりたい種目】

- ・ 自由形、ゆっくり 200m泳ぐ
- ・ 老人向け水中ウォーキング
- ・ 介護付きで歩行

【（12～15 民間や市外の公立プール施設の方が～）を選択した方の利用施設】

- ・ 府中市学習センター
- ・ セサミ三鷹
- ・ 西東京市スポーツセンター
- ・ 地元のジム
- ・ コナミスポーツクラブ武蔵境
- ・ 高井戸温水プール、メガロス吉祥寺
- ・ メガロス、コナミ
- ・ NAS スポーツクラブ
- ・ 小金井市栗山公園プール
- ・ 三鷹市 SUBARU 総合スポーツセンター
- ・ メガロス吉祥寺
- ・ 小金井市総合体育館温水プール

【その他の理由】

- ・ 忙しいので利用していない
- ・ 身体にタトゥーが入っているから
- ・ スクールを利用したときに、いつも利用している方が威張っていて初めて行ったのに使用しづらかった
- ・ 利用しているスポーツジム内にあるので
- ・ 子どもが大きくなったので行くことが無くなった
- ・ 子どもが小さい
- ・ 老齢のため
- ・ コロナが心配
- ・ 転入したばかりで、コロナもあり利用していない
- ・ 他の運動をしているから
- ・ 水泳に関心がない
- ・ 泳ぐのが好きではないため積極的に行く気がない
- ・ 交通が不便
- ・ プールで行うスポーツや運動に興味がないから
- ・ 障害が重く、プールが不安
- ・ 障害者なので一人で利用するのが不安なため
- ・ 泳ぐことに抵抗を感じる
- ・ 施設に行くのに時間も交通費もかかる
- ・ あると知らなかった

- ・ においが気になる
- ・ 嫌な思いをしたことがある
- ・ 運動をしないから
- ・ 泳げないため

問 11（市営プールの現在の使用料金をどう思われますか。）のその他の回答

- ・ 中学生から高校生への価格設定が高い。高校生は大人より安くしてほしい
- ・ 屋外プールがなくなれば、料金を少し上げてもいいと思う
- ・ 高くなってもいいから屋外プールを存続してほしい
- ・ 料金表示の仕方が分かりにくい
- ・ 市民以外の利用はもっと高くしてほしいと思う
- ・ 使用料があるのを知らなかった
- ・ 70 歳以上無料
- ・ 市の予算に余裕がなければ、ランニングコストと使用料収入を考えると値上げしても良いと思う。余裕があるなら健康増進のために利用のハードルを上げない観点から、現状維持が望ましい
- ・ 市民料金はそのままでもいいと思うが、市外はもう少し上げてもいいような気がする
- ・ 現状で適切だが、境・桜堤地区など、施設から遠い地域は利用しづらいので遠さに応じた割引があれば更に利用が増えるのではと思う
- ・ 中学生までは無料とすべき
- ・ 赤字経営なのであれば、市内一律 200 円でもよいと思う
- ・ 基本的には利用者の数とコストのバランスによると思う。ただし、利用者のうち低所得者層が多く割合を占める場合は、その限りではないと考える

問 12 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）【案 1】を選択した理由

◆屋外プールに関する理由

- ・ 継続利用を望む
- ・ 屋外プールの縮小、廃止はさみしい
- ・ 屋外プールはプールらしくて好きだから
- ・ 50m の屋外プールは貴重
- ・ 屋外プールは屋内プールと比べ、広く、開放感があり、人も少なくて空いていたので、泳ぎやすく快適であった
- ・ 屋外の 50m プールは人が多くてもものびのび泳げるため
- ・ 公営だからこそ、屋外を維持するべき

◆コストに関する理由

- ・ 解体建て替えを行うと莫大な費用がかかってしまうため
- ・ 案 1 のコストが良く、50m 外プールも使える
- ・ 一番コストがかからないのと、屋外プールはあった方が良いと思うから
- ・ 費用が一番安いから
- ・ 基本的にはコスト削減を重要視したほうが良い

◆その他

- ・ 大会や長水路練習などレーン貸し出しすればいいと思う。
- ・ 屋外プールのメリットは武蔵野市ならではのと思う
- ・ 機能としては現状のもので満足している

問 12 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを 25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する【案 2】を選択した理由

◆屋外プールに関する理由

- ・ 太陽の下で泳ぐことを残したい。民間は室内なので市民プールは民間のできないことをしてほしい
- ・ 屋外は子どもの楽しみのため必要だが、規模縮小でコストを最適化する
- ・ 非効率でも長年親しまれているなら、いきなり廃止にせず、まずは縮小からでもよい

◆折衷案という理由

- ・ 50m プールは距離が長く、途中で泳ぐのを断念する人もいると思う。また、衛生面から屋内プールを使用したいと思う利用者が多いのではないかと。ただ、夏の暑い日には屋外プールで泳ぎたいという利用者が一定数いると思われるので、屋外プールを廃止すべきではない
- ・ 屋外での遊びの空間を維持しつつ、換気やバリアフリー化の課題を解決できるため
- ・ 屋内プールであれば、天候を気にせず利用できる。屋外プールを好む方もいるだろうから、廃止するほどではなくてもよい

- ・ 夏は暑すぎてできる遊びが少ないので、プールはとても良いが、暑すぎて入れないこともあるので、屋内を拡大した方がよい
- ・ 子どもたちにとって、身近に屋外プールがあることが、楽しい。でも道路の拡幅は必要

◆その他

- ・ 屋内プールのみでは窮屈になってしまう
- ・ 屋外プールは 25m で十分
- ・ 子どもが遊べるエリアさえあればいい。流れるプールがあるとよい

問 12 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案 3】を選択した理由

◆屋内プールに関する理由

- ・ 屋内プールの機能拡充に全力を注ぎ、市民に愛されるプールになるとよい
- ・ 利用期間が短い屋外プールは廃止して、利用者が多い施設を充実させた方がよい
- ・ 気候季節に関係なく年中利用できる屋内プールのみにしたほうが利便性が高く、メンテナンスも簡易である
- ・ 子どもは暑さに弱いので幼児プールを屋内に作ってほしい
- ・ 充実した設備(稼働床、流水、後付けのリハビリ床など)の室内プールを整備してほしい
- ・ 屋内のみにすることで、異年齢の子どもがいるときに目が行き届きやすくなる
- ・ 屋内の設備拡充により屋外のイベントの代替ができる

◆屋外プールに関する理由

- ・ 使用期間の短い屋外プールは、スペースと経費の無駄が多いので、廃止してもよい
- ・ 50m プールの使用は年二回で、大量の水が必要なので廃止してよい
- ・ 昨今の気象状況等を考えると、使用機会の少ない野外プールは、維持費用もかかるため廃止でよい
- ・ 屋外プールはレジャー系に行けばよい
- ・ 屋外プールの利用は夏季の気温が高すぎるため危険である

◆コストに関する理由

- ・ 屋外屋内両方を維持管理するには非効率であるため
- ・ 工事費、管理運営費が抑えられる
- ・ 屋外プールは夏季しか使えないので維持費が削減できる
- ・ 今はジムに通う人も多く、屋内外両方のプールを整備するために莫大な費用をかける必要はない

◆現状の課題の解決に関する理由

- ・ 更衣室からプールまでの長い動線、臭気の改善、災害時を考慮した全体計画に賛成
- ・ 整備の目的がスポーツ推進ならば、一番メリットも多く趣旨に沿っている
- ・ 屋内屋外二つプールがあるよりは、周辺環境の整備（特に災害時）をした方がよい

- ・ 屋外プール跡地をほかのスポーツやイベントに活用できる
- ・ 最近災害が増えてきたので、緊急車両のスペースを確保した方がよい

◆その他

- ・ 屋外プールの代わりに日光に当たれるスペースがあればよい
- ・ 泳がなくても寄りたくなるプールを目指してほしい

問 13（市営プールの整備における機能拡充について重視したい点をお答えください。）のその他の回答

- ・ 男女別にしてほしい。短いコースとエクササイズ用プールが欲しい。乳幼児用も大人のプールと分けてほしい
- ・ 有料のテニスの壁打ちスペース
- ・ スケートボード場にする
- ・ 機能充実不要
- ・ 屋内流水プールやスライダーがあつたらもっと利用すると思う
- ・ プールで泳いだあとにストレッチや筋トレができるスペース
- ・ 案 2 と案 3 が両立できる設備のあり方がよい。災害は確実に来るので備えは必要だがただの駐車場では土地と税金の活用方法としては不十分
- ・ 案 1、案 2、案 3 は全て前提として満たすべき最低要件だと思う。これを満たした上で、さらに問 12 の回答などを踏まえ、未来のプールとしての機能拡充、機能創造、進化を遂げてほしい
- ・ 武蔵野プレイスのようなカフェ等の充実
- ・ 脱衣場のバリアフリー

問 14 自由意見

◆今後の整備について

- ・ 老朽化が気になるので改修は適宜行ってほしい
- ・ 50m の屋内プールを新設
- ・ 市営プール西側歩道の拡張を早急にやるべき
- ・ 子どもが利用しやすいようにすべき
- ・ 一時的な支出は仕方ないが、災害時のスペース確保など将来に向けて計画してほしい
- ・ 建て替えに当たっては衛生面、安全面に十分配慮した、シンプルで使いやすい施設になれば良い
- ・ 30 年以上経過した建物、プール管理棟の動線の悪さ、設備の老朽化等は安全性利便性快適性から根本的に建て替えが良い
- ・ 屋内に 50m、25m、幼児プールを設置してプール利用の多様化を図れば、利用者増になるのではないかと

- ・ 大会は近隣の自治体や地域の施設を利用しあうことがよい(一つの市で全てを設けなくてもよいのでは)
- ・ 災害時に屋外の空いたスペースを確保できるのはとても良い事。緊急時に備えて街のあり方をどんどん新しく変えていくことは重視すべき
- ・ 脱衣所、トイレの改修が必要
- ・ 入浴、シャワー、リラックスルームの整備をしてほしい
- ・ バリアフリーを充実させて車いすの方でも利用できるようにするのがよい
- ・ シャワー施設をもう少し整備してほしい。ロッカールームの床がびしょびしょのことが多く、改善されるとよい
- ・ 年齢に関係なく多くの方が利用できるよう、十分に話し合ってください決定してもらいたい
- ・ 障害者用更衣室があるようだがユニバーサル更衣室として欲しい。トランスジェンダーや父親と女兒など一般的な更衣室では着替えにくい人のための更衣室としてほしい
- ・ 子ども達がいやすいように屋内プールが改善されるならよい。外の光を取り込む造りはとてもよいのでそれを踏襲してほしい
- ・ 災害時に自由が利くことの方が大事。市役所の周辺に、オープンスペースを確保しておくことが大事
- ・ 競技用でなく、一般人がいやすいプールがよい
- ・ 高齢者が気軽に行けるようにしてほしい
- ・ 時代に合ったスマートで市民に愛される最高の市民プールにしてほしい
- ・ プールに子どもたちが遊べる施設を作してほしい
- ・ バリアフリーの点について、身体障害だけでなく知的障害や精神障害者への対応も充分図ってほしい
- ・ 災害時に活用できる施設にしてほしい
- ・ 採暖室を設置してほしい
- ・ これまでの利用実績を分析し、方向性を決める
- ・ 周りの施設との兼ね合いで、総合的なスポーツの場として、様々なスポーツを複合的に楽しめる場所になって欲しい

◆整備費用について

- ・ 整備の方向性を再検討し支出の縮小を図る
- ・ 一部の住民のために、多額の税金を使われるのは不公平と感じる
- ・ 立地や開館時間などから、日常的に利用しているのは一部の市民の方だと思う。費用対効果に疑問を感じる

◆利用料金について

- ・ もっと料金を上げてほしいと思う。
- ・ 利用料を上げるなど、採算性をもっとよく考えるべき
- ・ 住む場所によって利用しやすい人としにくい人の差があるのではないかな
- ・ 水道代、光熱費の値上がり等を考えれば、利用料金の見直しも必要
- ・ 市民以外はもっと料金が高くてもいい

- ・ 料金は高くてもいいので、利用したくなるプールにしてほしい
- ・ プール運営から収入を幅広く検討していただきたい。利用料を上げるのはあまり意味がなく、集客方法を検討すべき
- ・ 屋外プールがなくなっても、夏季の子ども料金 10 円は続けてほしい
- ・ 市民プールは低料金が一番の魅力なのでそこは維持してほしい

◆アクセス・立地等について

- ・ アクセスや平日の営業時間を延長する工夫が必要
- ・ 市営プールが 1 ヶ所しか無い為、利用するには車が無いと行けない、もしくは市外のプールの方が近いなど不便
- ・ 吉祥寺駅、武蔵境駅からのアクセスを良くしてほしい

◆施設について

- ・ もう少し設備の衛生面がきれいにしてほしい
- ・ トイレ、シャワー、更衣室等の衛生面の改善、床材の改良、休憩スペースが暗く過ごしにくく感じる
- ・ プールの水がとても汚く、また利用したいとは思えない
- ・ 衛生管理には十分気を配って運営して頂きたい

◆プログラム・イベント等について

- ・ 定期的なイベントや競技の開催をしてほしい
- ・ 高齢者や障害者が利用しやすい環境、プログラム、サポートの充実
- ・ スポーツイベントだけでなく、水難事故防止訓練、講習会の充実してほしい
- ・ 市民プールで行われる幼児向けのスイミング教室等は、平日日中に行われており、保育園に通わせる世帯には参加できない
- ・ スクール等を充実させて、使用しやすくしてほしい

◆その他

- ・ 市営プールは不要
- ・ ジムのプールを使っているが、屋内プールが整備されれば市営プールに通おうかと思っている。ジムのプールは高い
- ・ 高齢になると水泳は良い運動なのでもう少し宣伝をしたら利用が増えると思う
- ・ 施設職員の対応が良くないことがある
- ・ 民間施設利用を補助ということも検討してほしい
- ・ 公立中学校のプールを市民に開放するなど既存の市営プールの再整備だけでなく、プール自体の数を増やすことを検討してほしい
- ・ 障害者の方、乳幼児を含めた子どもたち、リハビリ利用の方など、民間のプールが利用しにくい方のための施設にし、一般の方は料金を上げたり利用時間を制限しては
- ・ 他市や民間のプールを参考にしてほしい
- ・ 市内の小中学校のプールの活用を考えたらいいと思う

(2) アンケート調査票

市営プールの整備に関する アンケート調査へのご協力をお願い

平素より、本市のスポーツ行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市営プールは竣工から 33 年以上が経過しており、施設の老朽化に伴い、整備の検討が必要な時期となっております。

昨年度策定の第二期武蔵野市スポーツ推進計画では、市民の皆様からの意見も参考にし、今後の市営プールの整備の方向性を示しています。本年度は示された方向性をもとに、市の最上位計画である武蔵野市第六期長期計画・調整計画の策定の中で全市的な議論をしていくこととしています。

つきましては、市民の皆様の市営プールの利用状況やご意見、ご要望等を十分に把握し、今後の検討に反映させることを目的として、アンケート調査を実施させていただくこといたしました。

お忙しい中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和 4 年 8 月
武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課

回答期限 9 月 20 日 (火)

回答方法 郵送またはインターネットのいずれか

【郵送】

調査票を同封の返信用封筒に入れて、9 月 20 日 (火) までに、郵便ポストに投函をお願いいたします。

【インターネット】

右記の二次元コードまたは URL から 9 月 20 日 (火) 23 時 59 分まで回答可能です。



URL : <https://questant.jp/q/musasino>

あなたの ID⇒〇〇〇〇〇 (1 回限り有効)

(ご注意) 必ず宛名に記載された方がご回答ください。

【回答にあたって】

- 無記名アンケートにつき、個人が特定されることはありません。
(上記 ID は重複回答を防ぐためのものです。)
- 回答は問 1 から順に、当てはまる番号に○印を記入してください。

【お問い合わせ先】

武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課

電話 : 0422-60-1903 (直通) FAX : 0422-51-9264

Mail : SEC-SYOUNGAKU@city.musashino.lg.jp

※本調査は、16歳以上の市民の皆様の中から無作為抽出した2,000人の方にご協力をお願いしております。

※ご記入いただいた情報は、目的外の利用は一切いたしません。

市営プールの整備に関するアンケート調査 調査票

あなたご自身のことについて

問 1. 性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問 2. 年齢をお答えください。(○は1つ)

1 16~19 歳	5 50 歳代
2 20 歳代	6 60 歳代
3 30 歳代	7 70 歳代
4 40 歳代	8 80 歳以上

問 3. 職業をお答えください。(○は1つ)

1 自営業・自由業	5 家事従事者
2 正社員・正職員	6 学生
3 契約社員・派遣社員	7 無職
4 アルバイト・パート	8 その他 ()

問 4. お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1 吉祥寺東町	5 御殿山	9 八幡町	13 桜堤
2 吉祥寺南町	6 中町	10 関前	
3 吉祥寺北町	7 西久保	11 境	
4 吉祥寺本町	8 緑町	12 境南町	

問 9. 問 5 で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。

市営プールを利用して改善してほしいと感じる点を教えてください。

(○はいくつでも)

1 利便性	5 職員の対応
2 料金設定	6 バリアフリー
3 施設の衛生管理	7 その他 ()
4 施設設備の安全対策	

問 10. 問 5 で「1」および「2」を選択しなかった方にお伺いします。

市営プールを利用しない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1 施設の場所を知らない
2 利用方法がわかりづらい
3 自宅から遠い
4 開館時間が自分のライフスタイルとあわない
5 設備が不十分
6 バリアフリーが不十分
7 施設が古い
8 設備の衛生面が気になる
9 自分がやりたい種目ができない (やりたい種目 :)
10 混雑している
11 市営プール以外で行うスポーツや運動で十分
12 民間や市外の公立プール施設の方が、プログラム等が充実している
13 民間や市外の公立プール施設の方が、設備が充実している、施設が新しい
14 民間や市外の公立プール施設の方が、営業時間が自分に合っている
15 民間や市外の公立プール施設の方が、交通の利便性が良い
※上記 12~15 でご利用の施設を、よろしければお答えください
()
16 その他 ()
17 特に理由はない

問11. 以降は、**全ての方**にお伺いします。

市営プールの現在の使用料金をどうお考えですか。(○は1つ)

1 現状のままでよい	4 わからない
2 高いと思う	5 その他 ()
3 安いと思う	

【参考】

◆現在のプール使用料金（2時間）

種類	市民料金 (市民カード利用時)	通常料金	屋外プール 開場期間 (市内・市外)	備考
大人 (高校生以上64歳まで)	200円	400円	200円	
大人 (65歳以上)	100円	400円	200円／ 100円(※)	※ゴールドカード 利用時(市民のみ)
子ども (小・中学生)	50円	100円	10円	
未就学児	無料	無料	無料	
障害者手帳等 をお持ちの方	無料(※)	400円	200円／ 無料(※)	※プラチナカード 利用時(市民のみ)

◆プールの管理運営費用について

- ・市営プールの管理運営にかかる費用（ランニングコスト）は、年間約1億円です。一方、施設利用者による使用料収入は年間約2,300万円となっています。なお、上記費用には施設の保守や修繕にかかる工事費は含まれておりません。
(参考工事費：令和3年度 約400万円、令和2年度 約3,200万円、令和元年度 約7,000万円)
- ・管理運営費（工事費を含まない）のうち、施設利用者による負担割合は23%未満となっており、残りの77%以上は市税による負担となっています。

プール施設のあり方について

ここからは、今後の市営プールの整備について、ご意見を伺います。下記参考資料をご一読のうえ、問12以降にお答えください。

（参考資料）

昨年度の第二期武蔵野市スポーツ推進計画の策定過程において、今後の市営プールの整備のあり方について、市民の皆様からの意見を踏まえ、その方向性が示されました。

ここでは、現状・課題とともに検討された整備検討案と整備の方向性について、ご説明します。

①整備の目的

- ・ 障害の有無に関わらず、幼児から高齢者までが快適かつ安全安心に、年間を通して利用できるプールとするため
- ・ 観るスポーツ・障害者スポーツの促進、エリア一体の良好なまちづくり、災害時への円滑な対応など、複合的な取組みができる施設とするため

②現状と課題

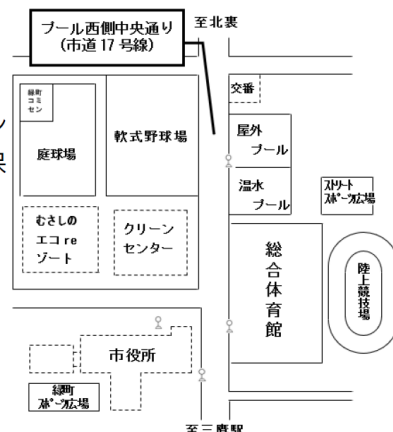
市営プールは、温水プール、屋外プール及び管理棟で構成されています。同プールと周辺環境の現状と課題は以下のとおりです。

【市営プール】

- ・ 温水プール棟は平成元年(1989)年竣工、管理棟は昭和 57(1982)年竣工です。また、戦後市が中島飛行機武蔵野製作所から譲り受けた屋外プールは、戦前から使用されています。現在の施設を維持するために必要な改修を行うと工事費に約 10 億円がかかる見込みです。
- ・ 管理棟は、屋外プール用として建てられ、後に温水プール棟を増設しているため、改修しても、換気（臭気）、動線の複雑さ、バリアフリー化などの現行の課題は解消できません。
- ・ 屋外プールは、年間を通しての利用が 7 月～9 月中旬のみとなっており、気象条件により開場日が更に限定されます（令和元年は開場期間 77 日のうち 22 日が悪天候により使用を中止）。また、50m プールとしての使用は年 2 回の大会のみです。施設の規模が大きく大量の水を必要としますが、経年劣化により井戸水が使用できないことから多額の水道料金がかかり、施設の維持管理が非効率となっています。

【周辺環境】

- ・ 災害時には、総合体育館が物資輸送拠点、陸上競技場が自衛隊宿泊地として位置づけられていますが、市営プールと隣接する総合体育館の間の通路等が狭く、進入路の確保ができません。また、スポーツ大会等の開催時に選手等の移動や機材搬入等に必要な大型車両の進入路及び駐車スペースも確保できません。
- ・ プール西側の中央通り（市道第 17 号線）は歩道が狭く、快適な歩道空間の確保及びバリアフリー化等のため、現在のプール敷地に歩道を広げる必要があります。



③整備検討案

※文中のコストは令和3年度計画策定時の概算金額です。

案1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する

メリット	・工事費が施設を建て替えるよりも安価となる。(約10億円) ・屋外プール(50m)を継続して利用することができる。
デメリット	・管理棟を継続して利用するため、換気(臭気)やバリアフリー化、温水プールとの導線の複雑さについての課題が解決できない。 ・プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースを確保できない。また、総合体育館や陸上競技場への車両の進入路や駐車スペースが確保できない。 ・屋外プールの管理運営費が継続してかかる。(5億円/20年間)

案2 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小する

※既存の屋外プールは50m

メリット	・換気やバリアフリー化、管理棟と温水プールとの導線の複雑さなどの課題が改善される。 ・屋外プール(25m)を継続して利用できる。温水プールの建替えに伴い、25mプールのコース増設(現7コースを9コースへ)、屋外にある幼児プールの屋内化などの機能の向上を図る。 ・屋外プールの縮小に伴い、プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースの確保や総合体育館、陸上競技場への車両の進入路や駐車スペースが確保できる。また、地域のイベントなどで活用可能な多目的スペースの確保を検討できる。
デメリット	・工事費及び管理運営費の比較コスト合計が最も高くなる。(約36億円) ・屋外プールの管理運営費が継続してかかる。(5億円/20年間) ・既存の屋外プール(50m)で開催されていた大会(年2回)ができなくなる。

案3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止する

メリット	・換気やバリアフリー化、管理棟と温水プールとの導線の複雑さなどの課題が改善される。 ・温水プールの建替えに伴い、25mプールのコース増設(現7コースを9コースへ)、屋外にある幼児プールの屋内化などの機能の向上を図る。 ・屋外プールの廃止に伴い、敷地内に十分なスペースを確保できるため、大規模なスポーツイベントをはじめ、障害者スポーツ、ニュースポーツ、アウトドアなどの多彩な活用が可能となる。また、プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースの確保とともに周辺の交通円滑化が図れる。更に、災害時における緊急・大型車両の進入路、駐車スペースの確保もできる。 ・屋外プールの管理運営費がかからない。(－5億円/20年間)
デメリット	・既存の屋外プール(50m)で開催されていた大会(年2回)ができなくなる。 ・屋外プールの廃止に伴い、夏期の利用人数やレクリエーション機会が減少する。

上記3案の比較コスト		(内 訳)	
		工事費	屋外プールの管理運営費
案1	約15億円	約10億円(改修工事)	約5億円(2,500万円/年×20年間)
案2	約36億円	約31億円(解体・建替工事)	約5億円(同 上)
案3	約26億円	約26億円(解体・建替工事)	なし(屋外プールの廃止)

第二期スポーツ推進計画では比較検討の結果
整備の方向性として【案3】を採用

第二期スポーツ推進計画は、右記二次元コードからご覧いただけます。



問12. 市営プールの整備の方向性について

長年、市民に親しまれてきた屋外プールは現在、7月～9月中旬のみの利用であることに加え、悪天候により開場日が更に限定されています。気象条件に左右されやすい施設で、かつ50mプールとしての使用は年2回のみですが、多額の維持管理費用を必要とし、運用が非効率となっているのが現状です。このことを踏まえ、第二期スポーツ推進計画では屋内プールへの機能拡充(※)の方向性が示されました。

(※) 幼児プールの屋内化、25m プールのコース増設など

市営プールの整備の方向性として、第二期スポーツ推進計画で示した整備検討案のうち、あなたのお考えに合うものをお答えください。

- 1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）【案 1】
(理由:)
- 2 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを 25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する【案 2】
(理由:)
- 3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案 3】
(理由:)
- 4 わからない
- 5 その他 ()

問 13. 問 12 で「3」を選択した方にお伺いします。

市営プールの整備における機能拡充について重視したい点をお答えください。

(○は1つ)

- 1 屋内プールの拡充（幼児プールの屋内化、プールのコース増設など）
- 2 多目的スペースの活用（ニュースポーツ・アウトドアなどの多彩な活用）
- 3 災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースなどの確保
- 4 その他（ ）

問 14. 最後に、市営プールの整備に関して、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

--

ご協力ありがとうございました。

3 ユーザーヒアリング調査

(中表紙裏面 白紙)

(1) 利用者ヒアリング調査結果

問1 市営プールの整備の方向性として、第二期スポーツ推進計画で示した整備検討案のうち、あなたのお考えに合うものは？（○は1つ）

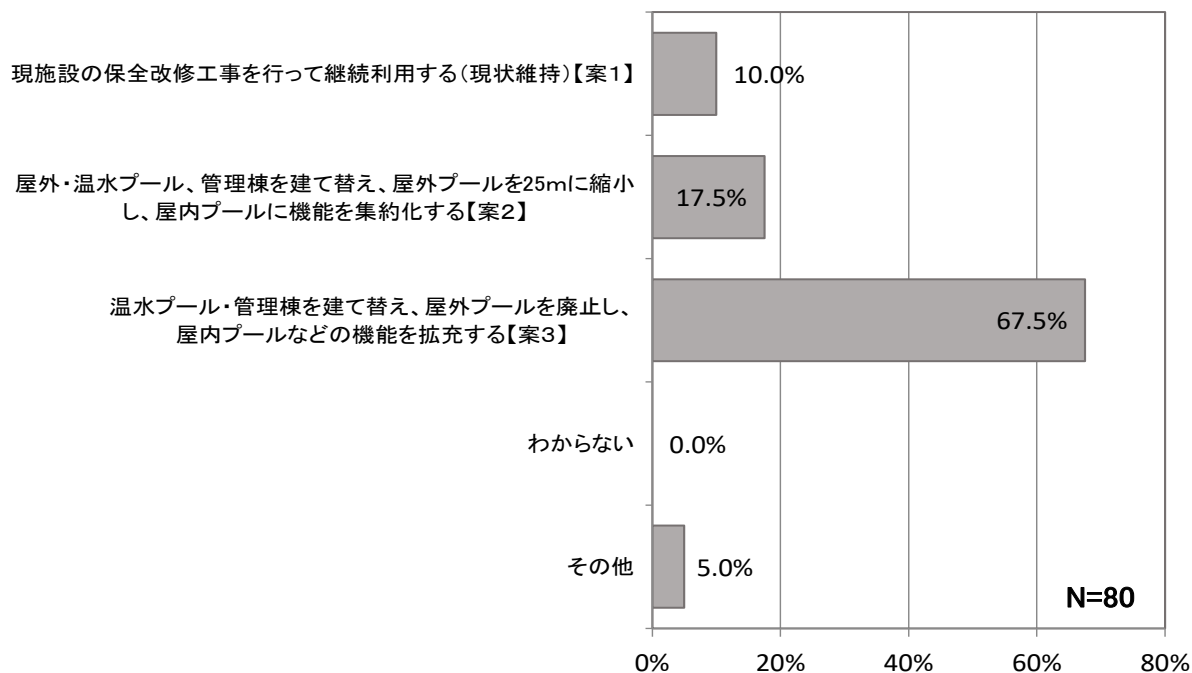
- | |
|--|
| 1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）【案1】 |
| 2 屋外・温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する【案2】 |
| 3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案3】 |
| 4 わからない |
| 5 その他 |

市営プールの整備検討案に対する意見として、【案3】が67.5%と最も多く、次いで【案2】17.5%、【案1】10.0%であった。

また、その他意見としては、工事期間に関する意見が寄せられた。

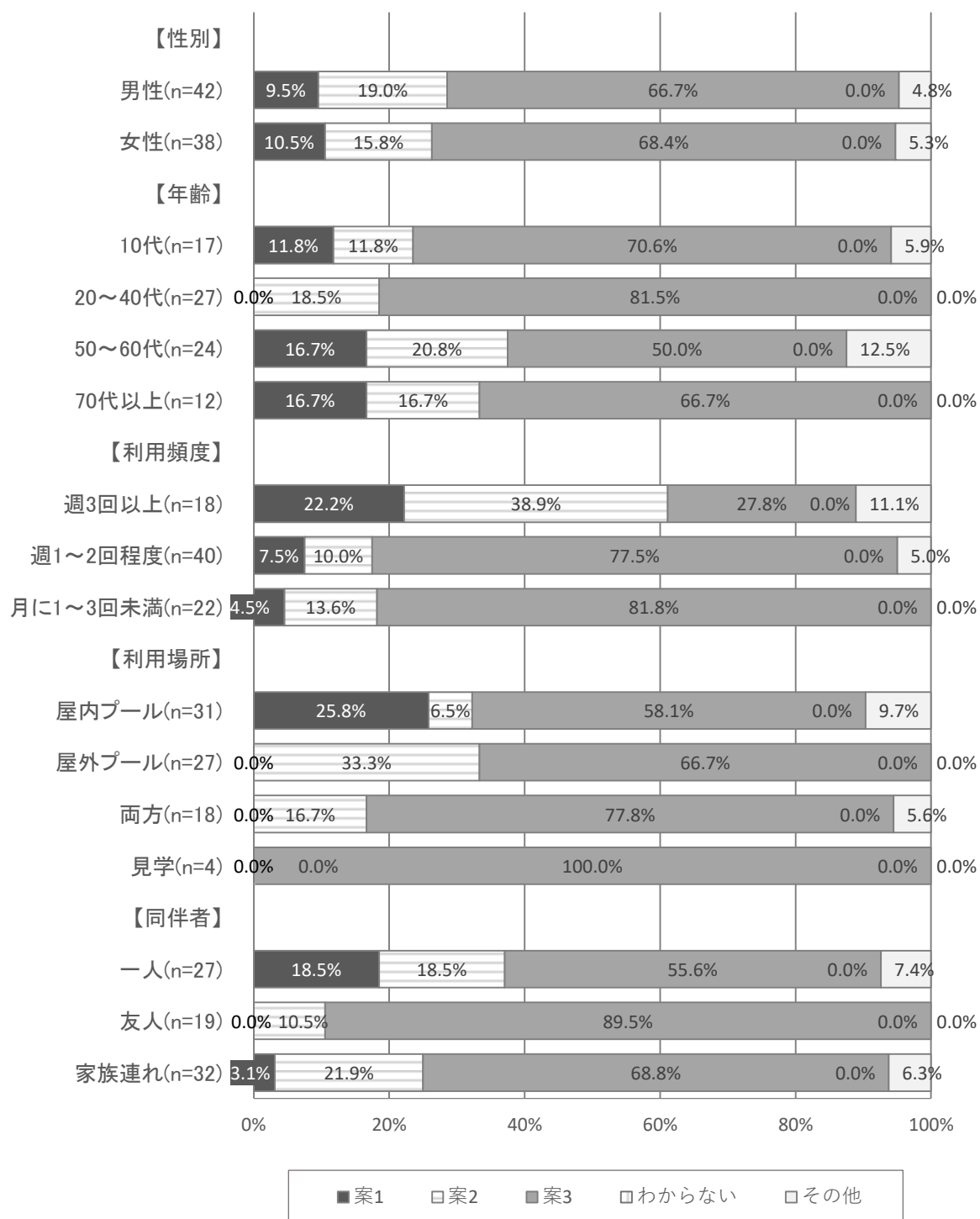
回答者の「性別」「年齢」「利用頻度」「利用場所」「同伴者」によるクロス集計結果については、次頁以降のとおりである。

利用場所別にみると、ヒアリング調査当日に回答者が利用していた施設については、「屋内プール」、「屋外プール」、「両方」ともに、【案3】が50%以上を占めている。



問1 5 その他意見

- ・ 工事期間による
- ・ 期間とコストの兼ね合いなので判断できない
- ・ 飛び込みができるプールがほしい
- ・ 資料をもっとみないと、判断しづらい



問 1 各選択肢を選んだ理由

1 【案 1】を選んだ理由

- ・ 50m プールが貴重
- ・ 競技として水泳をするには 50m プールが必要
- ・ 50m プールは必要
- ・ 屋外プールは必要
- ・ 屋外の 50m プールは残してほしい

2 【案 2】を選んだ理由

- ・ 外で泳ぐ魅力も捨てがたい
- ・ 建て替え賛成。ただし、屋外プールもほしい
- ・ 子どもが屋外プールを好きなため
- ・ 屋外は残してほしい
- ・ 小さくてもいいから屋外プールの要望（使いたい人）はあると思う
- ・ 屋外プールは小さくしてもあってほしい。気持ちいいから
- ・ 屋外プールが気持ちいいから

3 【案 3】を選んだ理由

- ・ 維持費を少なく
- ・ 屋外プールの必要性、良さなし
- ・ 使いやすくなるから
- ・ 広くなって一年中使えるようになるから
- ・ 広くて便利になるから
- ・ 使いやすく便利になるから。1 年中使える
- ・ 日光浴ができると OK。便利、費用面、老朽化
- ・ 費用面。年 2 か月しか利用できないことは無駄は明らか
- ・ 費用対効果
- ・ 子どもへの紫外線対策としても屋外プールは不要
- ・ 天井が開いて陽が入れば、屋外プールは不要

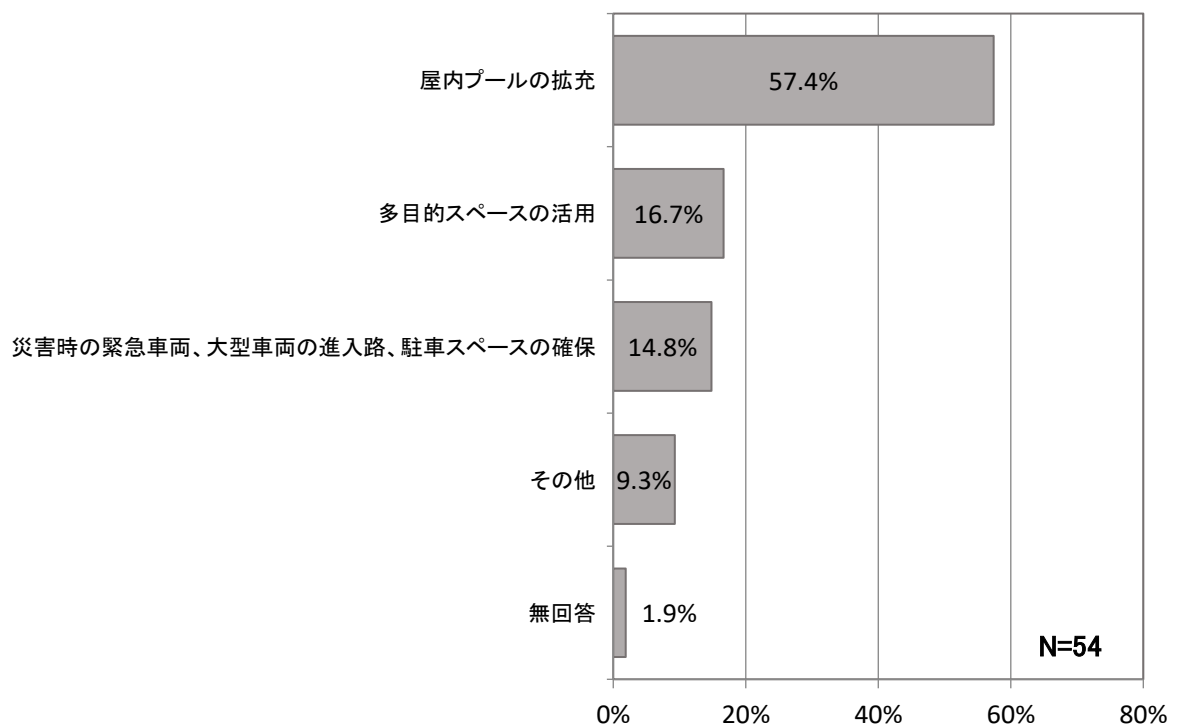
問2 問1で「3」を選択した方にお伺いします。

市営プールの整備における機能拡充について重視したい点をお答えください。(〇は1つ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 屋内プールの拡充（幼児プールの屋内化、プールのコース増設など） |
| 2 多目的スペースの活用（ニュースポーツ・アウトドアなどの多彩な活用） |
| 3 災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースなどの確保 |
| 4 その他 |

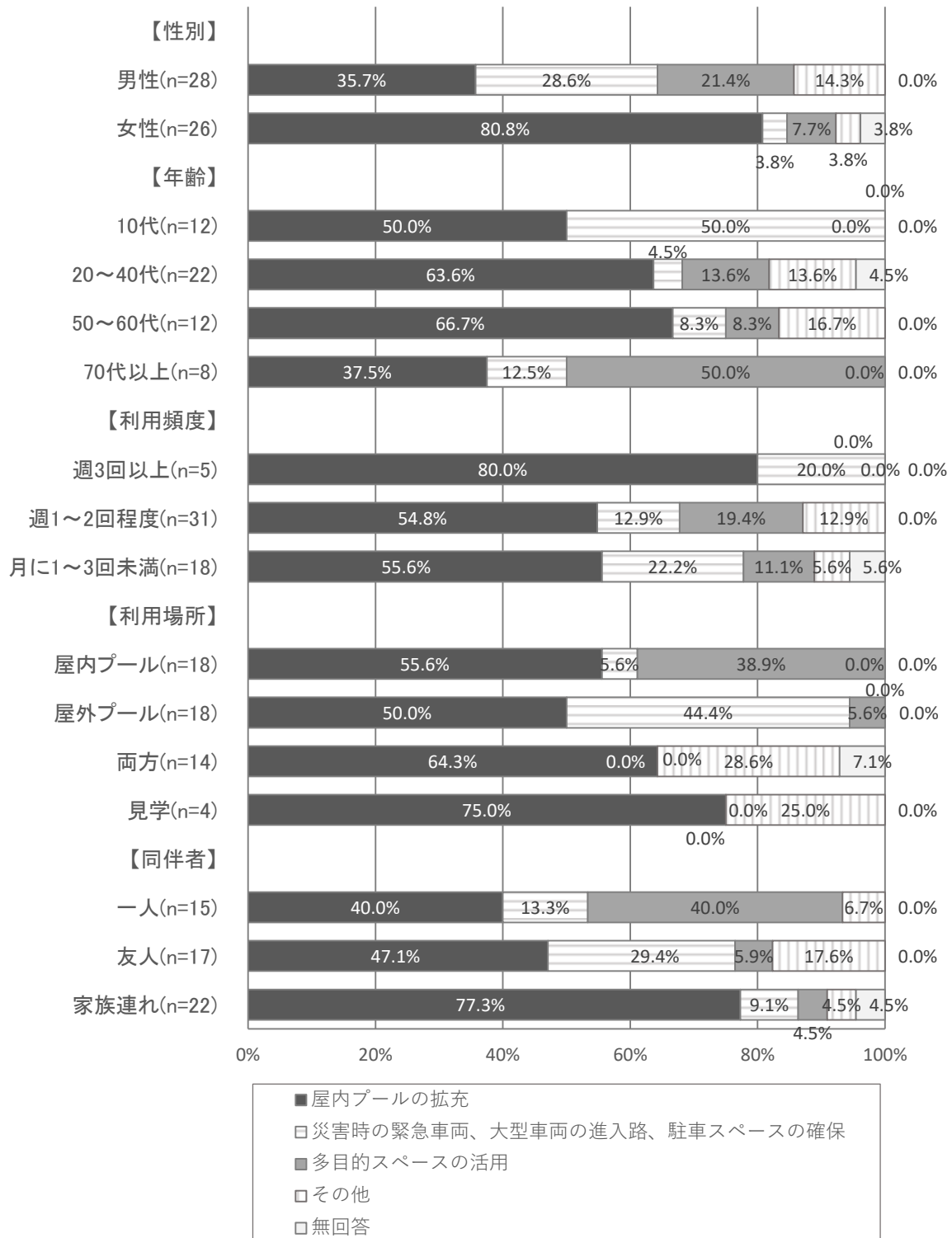
市営プールの整備における機能拡充について重視したい点は、「屋内プールの拡充」が 57.4%と5割を超えて最も多く、次いで「多目的スペースの活用」が 16.7%、「災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースの確保」が 14.8%と続く。

回答者の「性別」「年齢」「利用頻度」「利用場所」「同伴者」によるクロス集計結果については、次頁以降のとおりである。



問2 4 その他意見

- ・屋外プールのような開放感のあるプールにしてほしい
- ・オープンスペース（日光浴が楽しめる空間）があるとよい
- ・50mレーンがほしい



問3 市営プールの整備に関してのご意見やご要望

自由意見として寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して紹介します。なお、文章は原文を基本としていますが、誤字・脱字、句読点の修正のほか、意味が通じにくい部分は意見の趣旨を損なわない形で修正しています。

問3 市営プールの整備に関してのご意見やご要望

◆今後の整備について

- ・ バリアフリー化及びレーンを増やしてほしい
- ・ 開閉式の天井等があるとよい
- ・ 休憩、日光浴、オープンスペースを屋外にほしい
- ・ 屋外のオープンスペース（日光浴）があれば、屋外プールは不要
- ・ 子どもが楽しめる施設にしてほしい
- ・ 日焼けしにくいガラスにするといい
- ・ 室内を 50m プールにしてほしい。室内に幼児プール、観覧施設、暖房施設、飛び込み台がほしい
- ・ それぞれが楽しめるように幼児～小学生と大人用とを分ける
- ・ ユニバーサルデザイン化。トイレ、着替え室、動線等。音（反響）への配慮をしてほしい
- ・ 手すり、動線等のバリアフリー化。トイレ、パウダールームを清潔に。床が濡れないようにスノコを敷くことで衛生的かつ安全に
- ・ 着替えはプールと同じ1階で。監視員は2階からもできるようにすれば安全性が向上する
- ・ 自転車駐輪場に屋根を付ける（災害拠点として使用するときには屋根の下で炊出し可能）
- ・ 屋外プールの良さをとり入れる（天井が開く、日光浴ができる、コロナ対策にもなる）
- ・ 隣接する学校のプールと連携できるとよい
- ・ できるだけ工事などの利用できない期間を短くしてほしい
- ・ 建て替えに際して、市民の声をていねいに聞いてほしい。使う人の気持ちを考えてほしい。使いづらい公共施設にならないように
- ・ 見学者はプール利用者と動線を変えて入場できるようにしてほしい

◆利用料金について

- ・ 利用料金を上げてよい

◆施設について

- ・ 監視員が多すぎる
- ・ 50m プールが 50m プールとして利用できていない
- ・ 動線が悪い
- ・ ドライヤーを分散させてほしい
- ・ 子どものプールが冷たい

問4 あなたの性別は？（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

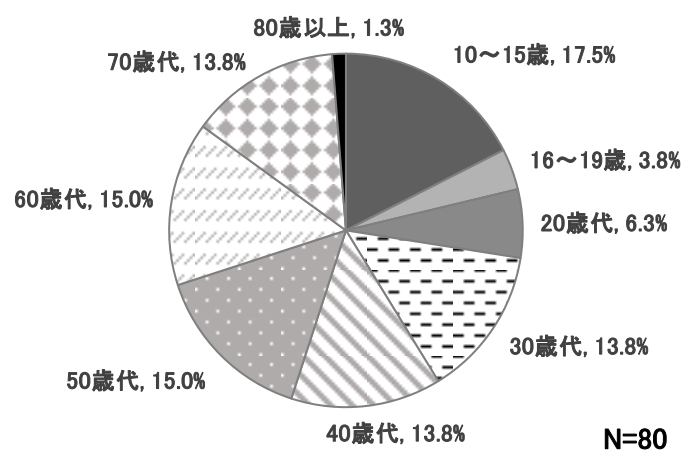
回答者の性別は、男性が 52.5%、女性が 47.5%であった。



問5 あなたの年齢は？（○は1つ）

1 16～19 歳	2 20 歳代	3 30 歳代	4 40 歳代
5 50 歳代	6 60 歳代	7 70 歳代	8 80 歳以上

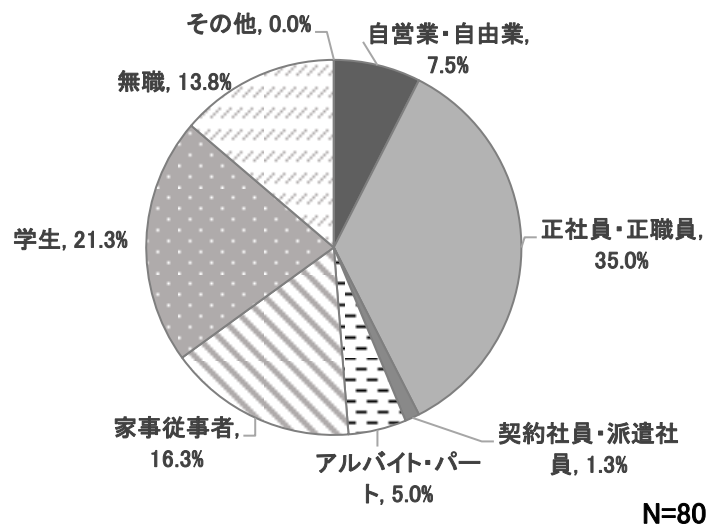
回答者の年代は、「10～15 歳」が 17.5%、「16～19 歳」が 3.8%、「20 歳代」が 6.3%、「30 歳代」が 13.8%、「40 歳代」が 13.8%、「50 歳代」が 15.0%、「60 歳代」が 15.0%、「70 歳代」が 13.8%、「80 歳以上」が 1.3%であった。



問6 あなたのご職業は？（○は1つ）

1 自営業・自由業	2 正社員・正職員	3 契約社員・派遣社員
4 アルバイト・パート	5 家事従事者	6 学生
7 無職	8 その他（ ）	

回答者の職業は、「正社員・正職員」が最も多く、35.0%であり、次いで「学生」21.3%、「家事労働者」16.3%、「無職」13.8%、「自営業・自由業」7.5%といった順であった。

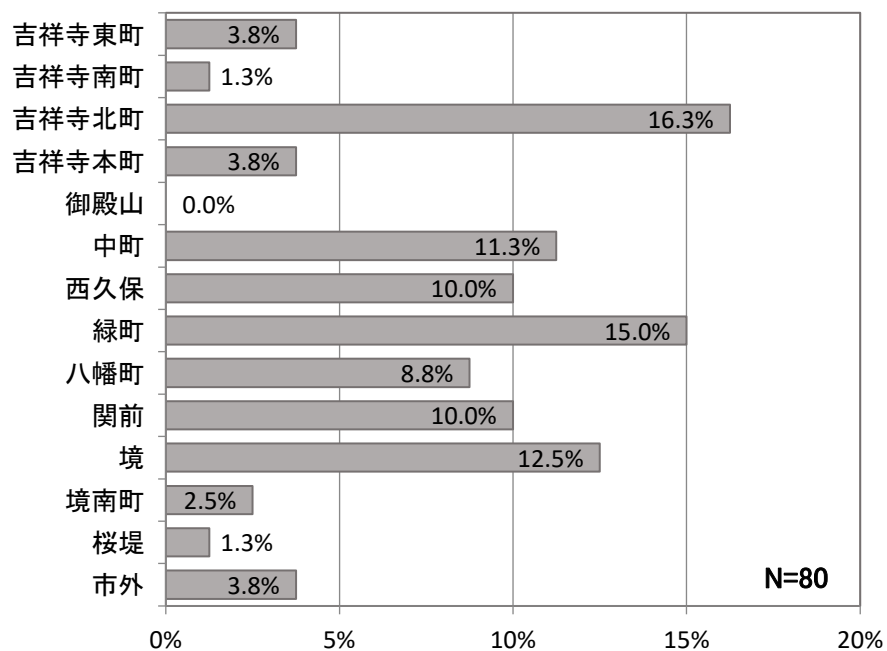


問7 あなたのお住いの地区は？（○は1つ）

1 吉祥寺東町	2 吉祥寺南町	3 吉祥寺北町	4 吉祥寺本町
5 御殿山	6 中町	7 西久保	8 緑町
9 八幡町	10 関前	11 境	12 境南町
13 桜堤	14 市外		

回答者の居住地は、「吉祥寺北町」が最も多く、16.3%であり、次いで「緑町」15.0%、「境」12.5%、「中町」11.3%、「西久保」10.0%、「関前」10.0%と続く。

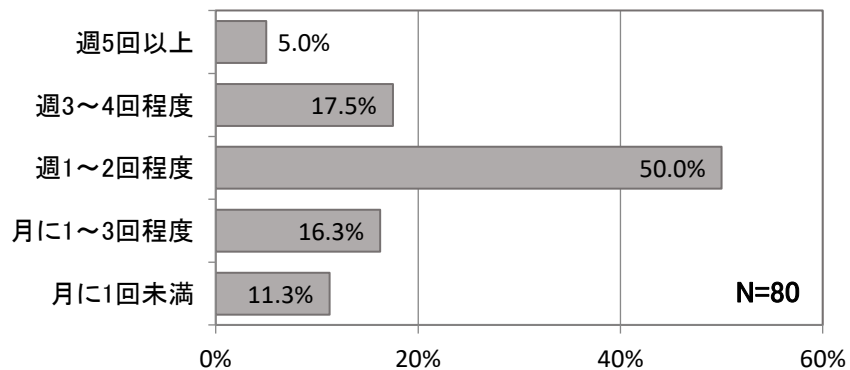
また、「市外」も3.8%あった。



問8 市営プールの利用頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1 週5回以上	2 週3～4回程度	3 週1～2回程度
4 月に1～3回程度	5 月に1回未満	

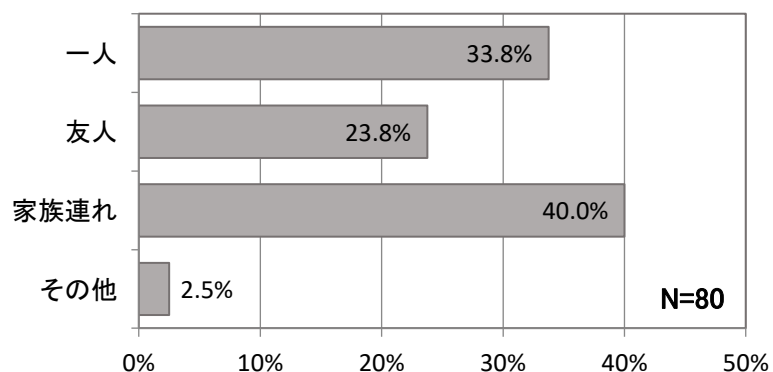
回答者の市営プールの利用頻度については、「週1～2回程度」が半数を占め50.0%と最も多く、次いで「週3～4回程度」が17.5%、「月に1～3回程度」が16.3%と続く。



■ 同伴者

1 個人	2 家族連れ	3 友人グループ	4 その他
------	--------	----------	-------

ヒアリング時に、同伴者についても尋ねたところ、「家族連れ」が40.0%と最も多く、次いで「一人」が33.8%、「友人」が23.8%であった。



(2) 利用者ヒアリング調査シート

市営プールの整備に関するヒアリング調査

長年、市民に親しまれてきた屋外プールは、7月～9月中旬のみの利用であることに加え、悪天候により開場日が更に限定されています。気象条件に左右されやすい施設で、多額の維持管理費用を必要とし、運営が非効率となっています。

このことを踏まえ、第二期スポーツ振興計画では屋内プールへの機能拡充（※）の方向性が示されました。

今回のヒアリング調査は、プール利用者の方々の考えを伺い、今後の検討に反映するものです。

（※）幼児プールの屋内化、25mプールのコース増設など

問1. 市営プールの整備の方向性として、第二期スポーツ推進計画で示した整備検討案のうち、あなたのお考えに合うものをお答えください。

1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）【案1】 （理由：_____）	_____）
2 屋外・温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する【案2】 （理由：_____）	_____）
3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する【案3】 （理由：_____）	_____）
4 わからない	_____）
5 その他（_____）	_____）

問2. 問1で「3」を選択した方にお伺いします。

市営プールの整備における機能拡充について重視したい点をお答えください。（○は1つ）

1 屋内プールの拡充（幼児プールの屋内化、プールのコース増設など）	_____）
2 多目的スペースの活用（ニュースポーツ・アウトドアなどの多彩な活用）	
3 災害時の緊急車両、大型車両の進入路、駐車スペースなどの確保	
4 その他（_____）	

問3. 市営プールの整備に関して、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお話してください。（自由回答）

--

問4. 性別をお答えください。（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問5. 年齢をお答えください。（○は1つ）

1 16～19歳	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代	8 80歳以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

問6. 職業をお答えください。（○は1つ）

1 自営業・自由業	2 正社員・正職員	3 契約社員・派遣社員	4 アルバイト・パート
5 家事従事者	6 学生	7 無職	8 その他（_____）

問7. お住いの地区をお答えください。（○は1つ）

1 吉祥寺東町	2 吉祥寺南町	3 吉祥寺北町	4 吉祥寺本町	5 御殿山	6 中町	7 西久保
8 緑町	9 八幡町	10 関前	11 境	12 境南町	13 桜堤	

問8. 市営プールの利用頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

1 週5回以上	2 週3～4回程度	3 週1～2回程度	4 月に1～3回程度	5 月に1回未満
---------	-----------	-----------	------------	----------

ご協力ありがとうございました。

4 利用団体ヒアリング調査

(中表紙裏面 白紙)

(1) 利用団体ヒアリング調査結果

ヒアリング調査にて寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して紹介します。なお、文章は原文を基本としていますが、誤字・脱字、句読点の修正のほか、意味が通じにくい部分は意見の趣旨を損なわない形で修正しています。

団体種別：体育協会関連団体及び主婦・高齢者サークル団体	調査者：市担当課、業務受託者
日時：9月9日（金）14：20～15：00	調査方法：対面聴き取り（2団体）
【整備検討案の3案について】 ◆屋内に50mプールがあると良い（参考：町田市のプール）が、建設費などを現実的に考えると、屋内に公認競技が可能な25m×8コース程度があれば良いと思う ◆屋内プールが混んでいるため、屋外プールを利用している人もいないのではないか。中高生に50m泳ぎたいというニーズはあるかも ◆屋外プールは、年間で2か月しか使っていないにもかかわらず、運営費がかかり過ぎで不効率 ◆現状の屋外プールに関しては、50mラインを1～2コース設けてほしい 【機能拡充について】 ◆スロープ付きの障害者等専用プールがあると良い（参考：国立市障害者センタープール） ◆幼児用プールを屋内に設置できると良い ◆更衣室から屋内・屋外プールの動線の悪さ、更衣室の汚さは、整備の際に改善してほしい 【その他ご意見】 ◆利用料金が安価すぎると思う（参考：辰巳プール 750 円/日）	

団体種別：障害者団体	調査者：業務受託者
日時：10月12日（水）17：00～17：15	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆当団体としては、屋内プールを利用している ◆個人的な感想として、屋外空間が気持ちいい、50mコースがある、子どもの頃からの愛着があるなどの理由から、屋外プールは魅力的だが、利用期間を延ばすなどの対策が必要である 【機能拡充について】 ◆障害者用の更衣室について。現在1階にあり、使いやすいが、「誰でもトイレ」のように男女誰でも利用できるように、スペースを広く個室（4～5個室）にすることで、性別の異なる親子で使いやすくなり、盲導犬も入室可能となる 【その他ご意見】 ◆観覧席は、保護者が安心して見守れるよう、現在のように2階の見やすい場所に確保してほしい	

団体種別：主婦サークル団体	調査者：業務受託者
日時：10月13日（木）18：05～18：15	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆検討案3の屋内プールが良いと思う ◆屋内プールに日光浴が出来る空間を設けることで、屋外プールで日光浴を楽しむ市民にも満足してもらえと思う ◆屋内プールのコース利用を可動式にすることで、利用者数に応じた対応が可能になると思う 【機能拡充について】 ◆更衣室からプールへの動線を改善してほしい。トイレやシャワーはプールの近くに（冬は寒い） ◆トイレは、洋式にして、簡単なシャワーを設置してほしい（床に髪の毛が多く落ちている） ◆ロッカーの鍵の使いやすさを改善してほしい（市民カードで鍵が使えるなど） 【その他ご意見】 ◆天井ガラスは、UVカットガラスにしてほしい ◆観覧席からすぐにプールサイドに行けるよう、アプローチの階段を設けると良い ◆全体的に、もっと清潔にしてほしい	

団体種別：高齢者スクール団体	調査者：業務受託者
日時：10月15日（土）14：45～15：05	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆屋外プールは維持管理費がかかりすぎ、年間を通じて利用できるのもので、検討案3が良いと思う ◆整備の際に、屋内プールのコースを増やし、幼児用プールを屋内に設けると良いと思う 【機能拡充について】 ◆更衣室は、もっと清潔にしてほしい（床に落ちている髪の毛など） ◆トイレは、洋式にしてほしい ◆大規模災害時の防災拠点となることから、プールの整備に際して、防災機能の向上を希望する 【その他ご意見】 ◆コロナ禍対応として、利用者人数制限が厳しすぎると思う（他市はもっと緩やかな対応） ◆プール底のタイルが痛いので、痛くない素材にしてほしい	

団体種別：主婦サークル団体	調査者：業務受託者
日時：10月15日（土）15：10～15：30	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆中学生以上の学生や大人にとっては、屋内プールで充分だと思う ◆ただし、小学校低学年くらいまでの子どもにとっては、屋外で夏に水で遊べることはとても貴重な体験だと思う。屋外プールの維持管理費はかかるのだが・・・ 【機能拡充について】 ◆更衣室からプールへの動線を改善してほしい。特に冬は寒いので、すぐにアプローチできるようにしてほしい ◆トイレは、洋式にしてほしい 【その他ご意見】 ◆利用料について、子ども・高齢者・団体利用は据え置きにしてほしい	

団体種別：公共団体	調査者：業務受託者
日時：10月17日（月）16：20～16：35	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆年間を通じて利用できる検討案3が良いと思う ◆屋内プールのコースを増やし、幼児用プールを屋内に設けるとさらに良い ◆現在、屋内プールは、屋外プールと異なり、メンテナンスはかなり良いレベルである ◆屋内プールの維持管理費についても検討すべき。ゴミ焼却場と連携した利用ができると良い 【機能拡充について】 ◆更衣室は、仕事帰りにも利用できるよう使いやすく改善できると良い ◆大規模災害時の拠点として機能できるよう、大型トラックが横付けできるなど、敷地が有効利用できると良い 【その他ご意見】 ◆隣接する四中のプールと相互利用できると良いと思う ◆限りある税金を有効に使うよう検討してほしい	

団体種別：主婦スクール団体	調査者：業務受託者
日時：10月21日（金）17：35～17：55	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆検討案3が良いと思う ◆屋内プールを拡張し、幼児用プールを屋内に設けると良い 【機能拡充について】 ◆更衣室からプールやトイレへの動線を改善してほしい ◆プールと更衣室・トイレ・シャワーを同じ階にしてほしい ◆更衣室は、スノコを敷くと滑りにくくなり、衛生面も向上すると思う。ドライヤーが3台しかなく使いづらいので改善してほしい ◆トイレは、洋式にしてほしい 【その他ご意見】 ◆市営プールの場所について、三鷹駅方面からだけでなく、吉祥寺駅方面や武蔵境駅方面から直接市営プールに行けるバスがあり、バスの本数が増えると良い（市役所にも行きやすくなる） ◆利用する際に、コロナ対応のために屋外テントで待つ状態だが、寒いので対処してほしい	

団体種別：子どもスクール団体	調査者：業務受託者
日時：10月22日（土）13：50～14：05	調査方法：電話聴き取り
【整備検討案の3案について】 ◆屋外プールは、残してほしい。縮小して25mになったとしても、屋外で泳ぐのは気持ちいいので残してほしい ◆屋外プールの底のヌメリについて対策が必要だと思う 【機能拡充について】 ◆更衣室からプールへの行き来が、冬は寒いので改善してほしい	

（２）利用団体ヒアリング調査方法

◆対象団体（調査協力者）

武蔵野市生涯学習スポーツ課から協力依頼し、承諾していただいた団体（９団体）
高齢者・障害者・子ども・女性など、団体の参加会員はできるだけ多様な市民層を対象。

◆実施時期

令和４年９～１１月

◆実施方法

電話または対面による個別ヒアリング

電話をかける時間帯は、平日（月曜日～金曜日）の午前１０時～午後１７時頃までを基本とする。

◆実施留意点

質問・説明内容などの聴き取り内容について、協力者や実施者による違いがないように行う。
調査協力に対して失礼のないよう、対象者のご都合等を考慮しながら丁寧に対応する。

◆調査内容（所要時間：１５～２０分程度）

- １ 整備検討案の３案について、説明し、意向を伺う（アンケート調査票 問１２を参照）
- ２ 機能拡充について、選択肢を例示しながら、意向を伺う（アンケート調査票 問１３を参照）
- ３ その他、改修整備にあたっての、意向を伺う（自由意見）

5 ワークショップ

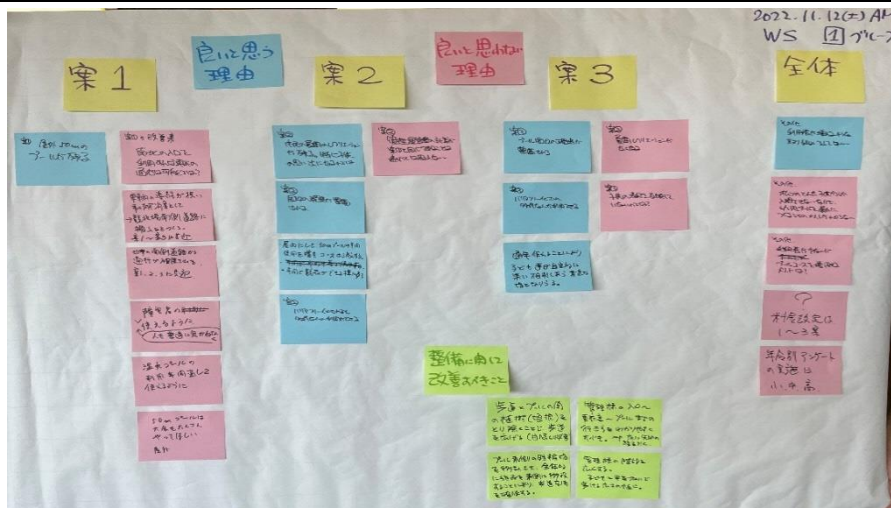
(中表紙裏面 白紙)

(1) ワークショップ結果

ワークショップで出された意見について紹介します。なお、文章は原文を基本としていますが、誤字・脱字、句読点の修正のほか、意味が通じにくい部分は意見の趣旨を損なわない形で修正している場合があります。

①第1回ワークショップ結果

第1回 令和4年11月12日(土) 午前 模造紙とりまとめ 1グループ



●良いと思う理由

▲良いと思わない理由

■整備に関して改善すべきこと

【案1】

●屋外 50mのプールが残る

▲案1の改善案 南北の入口を利用すれば車両の通行は可能では？

▲車両の動線が狭い事の解消案として競技場南側道路に搬入口をつくる。案1～案3に共通

▲四中の南側道路から通行が確保される。案1、2、3に共通

▲障害者の人も普通に気がねなく使えるように

▲温水プールの利用年間通して使えるように

▲50mプールは大会をたくさんやってほしい 屋外

【案2】

●市民の夏期のレクリエーションが残る。特に子どもの思い出になるのでは

●周辺環境が整備される

●屋内にして、50mプールの年間使用を増す。コースは減少する。年間で競技ができる様にする

●バリアフリー化されると多様な人の利用ができる

▲管理運営面の計算が案1と同じであることは適切とは思わない

【案3】

●プール周辺の環境が整備される

●バリアフリー化され多様な人が利用できる

●通年使えることにより、子ども達が自主的に集い相談し合う貴重な場となりうる

▲夏期レクリエーションがなくなる

▲子どもの意見を反映していないのでは？

【その他】

●利用が増えるような取組みをしてほしい

▲オムツのとれた子どもからしか入場できないなかで、幼児プールを屋内につくることのメリットがわからない

▲利用者が少ないがプールコースを増設するメリットは？

▲料金改定はしないのか(1～3案)

▲年齢別アンケートの実施。(小、中、高)

【整備に関して改善すべきこと】

■歩道とプールの間の植樹(垣根)を取り除くことで、歩道を広げる(目隠しは必要)【全体】

■プール東側の駐輪場を移動させ、全体的に施設を東側に移設することにより、歩道空間を確保する【全体】

■管理棟の入口～更衣室～プールまでの行き方をわかりやすくすべき(例:床に矢印の線を引く)【全体】

■管理棟の階段を広くする。子どもと手をつないで歩ける広さの幅に【全体】

第1回 令和4年11月12日(土) 午前 模造紙とりまとめ 2グループ



●良いと思う理由

▲良いと思わない理由

■整備に関して改善すべきこと

【案1】

- 長水路(50m) 使えるところ
- 夏の屋外は気持ち良い。としまえんなどなくなったので
- コストが安い 他のことに税金を使ってもらえる
- 50mプールでの大会が実施可
- ▲改修してもいつかは建て替が必要
- ▲バリアフリー化や導線が解決しない
- ▲緊急車両が入れないなどの問題が残る

【案2】

- 屋内・屋外両方あって季節によって使い分けられ、飽きない
- 利用の幅が広い
- 夏の屋外プールは良い 安く近くで
- 大人はしっかり中、子どもは外で家族で楽しめる
- 敷地に余裕ができるので多目的な使い方ができる
- ▲コスト高、利用者が少ないともったいない
- ▲コストが高い(工事・運営管理)
- ▲全体的にはコスト高、中途半端な屋外プールかも?

【案3】

- 敷地とプールを通年有効に使える
- 天候に左右されない
- プールのエリア全体に余裕がうまれ、動線がゆったりしそう
- 敷地に余裕ができるので多目的な使い方ができる
- ▲小さい子が遊べる場が減る
- ▲夏休み、子どものプール(外)の利用できる場が少なくなる
- ▲利用者の目的による切り分けが難しい

【整備に関して改善すべきこと】

- 屋外プールをナイトプールとして利用する【全体】
- 屋外プールを釣り堀などとして利益を出す【全体】
- 井戸水を使えるようにする【全体】
- 案4 屋内50mプールは?【案3】
- 50m×25mの屋内プールにする【案3】
- スポーツとして水泳したい人とレジャーとして楽しみたい人の空間の仕分をする【案3】

②第2回ワークショップ結果

第2回 令和4年11月12日(土)午後 模造紙とりまとめ 1グループ



●良いと思う理由

▲良いと思わない理由

■整備に関して改善すべきこと

【案1】

- 50mプールで引き続き泳げる
- 50mプールが継続利用できる
- 50mプールはこの辺りでも貴重な存在
- 外の冷たいプールは夏、きもちいい
- 長水路大会は貴重（水泳、アクアスロン）もっとPRすべき
- 臭気、ヌメリは改修で直せる
- ▲保全改修して、何年使えるのでしょうか？
- ▲利用できる期間が短い
- ▲年2回の大会はどんな大会？（市内中学選抜？）
- ▲大会利用している水連の意見
- ▲ぬめりがある
- ▲水がなまぬるい
- ▲プールが古い
- ▲管理棟老朽化
- ▲施設が古い
- ▲管理棟はキレイにしたい。トイレ、更衣室
- ▲臭気が気になる
- ▲大規模災害時や大会時などの際に大型車両が乗り入れできない

【案2】

- 水道代が浮く
- 近隣他市は施設が良い
- ゴージャスで良い
- 室内プール広くなる
- 室内・屋外両方使える
- ▲長水路の大会が出来ない
- ▲屋外 25mプールの管理運営費が高すぎる（年2,500万円）

【案3】

- トイレ等を含めバリアフリーは必須
- プール管理棟がリニューアルする
- 敷地の有効利用
- 敷地内スペース確保
- 室内プールが広がる
- なくせば大型バスが入れる
- 屋外プール管理費水道代がコストダウンできる
- 災害時の車両進入スペース確保は大切
- 紫外線が強くなり日焼けは「体に悪い」屋外プールは不安
- 近年、学校のプール（屋外）は暑過ぎて使えない場合が多い
- ▲貴重な50mプール消滅
- ▲屋外プール無くすな
- ▲屋外プールがなくなってしまうのは残念
- ▲大会ができなくなる（長水路の）
- ▲大会が開けなくなる

【整備に関して改善すべきこと】

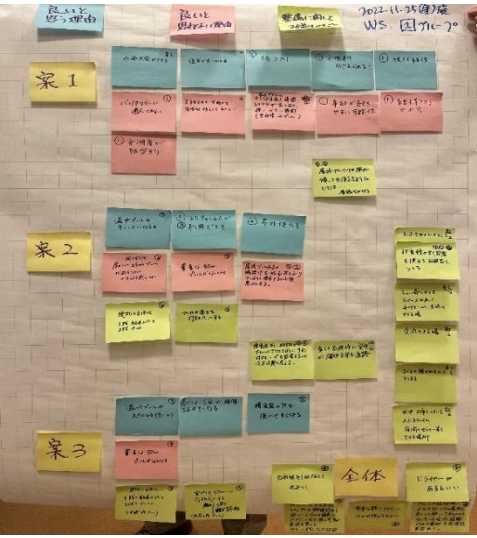
- 採暖室をあたためる【全体】
- 屋外に日光浴もできる休憩スペースがあるとよい【全体】
- ジャグジープールがあったらいいな【全体】
- 洋式トイレにしてほしい【全体】
- 子どもが喜ぶようなプール施設が欲しい【全体】
- 安心安全 清潔なプール施設が良い、特に更衣室とトイレ【全体】
- 利用料を値上げしてもよいと思う【全体】
- 市営プール整備のことにについて、広く市民にPR・情報提供すべき【全体】
- プールと競技場を一体化して、多摩地域のスポーツ拠点とする【全体】
- プールの深さを短水路の競技会が開催可能な深さにしてほしい【全体】
- 屋内 50mプールにしてほしい【案3】

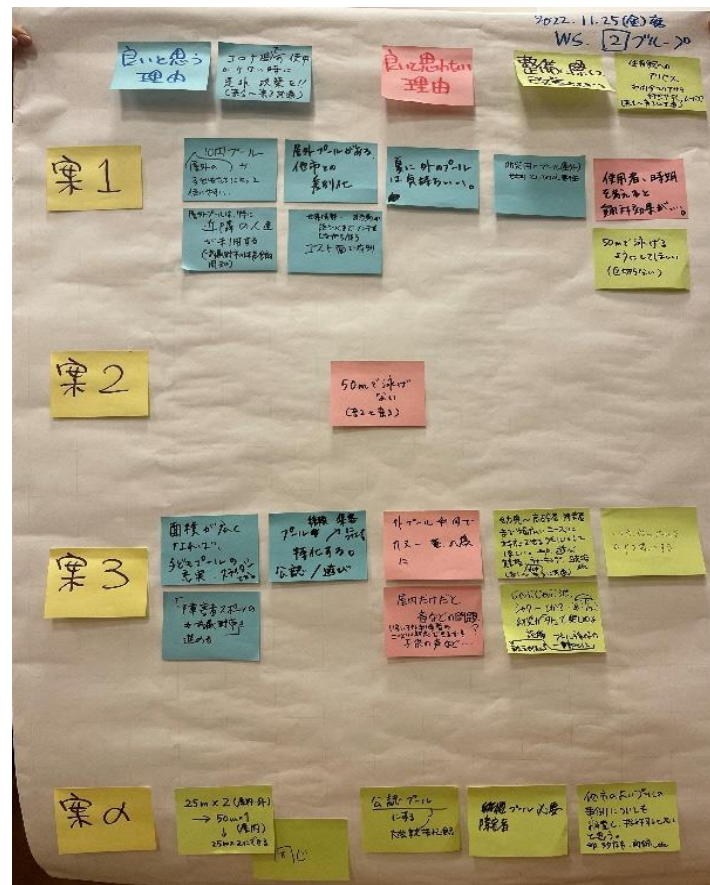
第2回 令和4年11月12日(土)午後 模造紙とりまとめ 2グループ



●良いと思う理由 ▲良いと思わない理由 ■整備に関して改善すべきこと 【案1】 ●屋外 50m プールが使用できる ●屋外 50m プールが使用できる ●50 m の プール は 貴重!!50 m プールが使用できる ●50 m プールがあれば選手の育成につながる ●外 50m プール 子どもの夏休みの遊び場を維持できる ●大会が開催できる ●50 m の大会 市内中学校水泳大会等ができる ●プール工事によって使用できなくなる日が少ない ●安い ●安価な点 ●古くなったらこわす、ではなくある施設を有効利用できる ●50 m 外プール きもちいい ●こんな良い屋内プールはない。天井高さ天井ガラスばり ▲動線が複雑等バリアフリーでない ▲動線については改良の余地が有る ▲無理な改修をして建物はどうなるのか? 【案2】 ●屋内プールを広くできる ●コースが増えるのは望ましい ●温水プールが新しくなる	●バリアフリーになる ●こんな良い屋内プールはない。天井高さ天井ガラスばり ▲高い ▲プール施設のあり方を1番に考えてほしい辺りの整理等の次になっている ▲公共施設として、市民の活動機会を減らすのはよくない(コスパだけで考えるべきでない) ▲25m プールでは大会ができない(大会が少ないのは競技規則に準じたプールではないからではないか) ▲選手育成に制限がある(25m しか泳げない) ▲夏場の芋洗い状態が増える 【案3】 ●長い目で見るとコスパが一番良い ●バリアフリーにできる ▲外 50m プールがなくなると、屋外の大会レクリエーション子どもたちの遊び場がなくなる ▲新しいスペースの具体的な利用方法が不透明 ▲現在の屋内プールの良さ(天井高い、天井ガラス、プールサイドと水面の高さがフラット、プール内白タイルばり等)がなくなる?? ▲外プールは欲しい ▲プール施設のあり方を1番に考えてほしい辺りの整理等の次になっている	▲公共施設として市民の活動機会を減らすのはよくない(コスパだけで考えるべきでない) ▲25m プールでは大会ができない(大会が少ないのは競技規則に準じたプールではないからではないか) ▲選手育成に制限がある(25m しか泳げない) ▲夏場の芋洗い状態が増える 【整備に関して改善すべきこと】 ■せっかく 50m プールなのに 25m でしか泳げない、50m で泳げる事にすればかえって利用が増えるのでは【案1】 ■普段から 50m プールの 50m 利用ができる日があるといい【案1】 ■競技規則に準じた 50m にしてほしい【案1】 ■大学等に 50m を貸し出す【案1】 ■50m の大会を増やせるといい【案1、2】 ■50m プール整備して大会をできるようにし使用料で収益を出す【案1】 ■全体に、なぜプールだけがスポーツイベント等の為に移動しなくてはならないのか?【全体】 ■屋外プールをつぶすのであれば、代替の施設を使えるようにすべき【全体】	■安いのであれば井戸水が使えるようになるといい【全体】 ■ジャグジーがほしい【全体】 ■追加料金でも(水の利用)シャワーでシャンプー、リンス等使えるようにしてほしい【全体】 ■体育館とプールの進入路ではなく、北側四中とプール間は広いので車が入りやすいと思う【全体】 ■利用者が少ないから無くすとの考えには賛成できません【全体】 ■今日のプール施設についてワークショップのように、今後、利用者を増やすためや、活発な利用が進むためには・・・等のワークショップも開催できるといい【全体】 ■利用者を増やすような施策を考えるべき(50m プールをアピール)【全体】 ■市民の生活が豊かになるようプールの維持を考えてほしい【全体】 ■施設を充実させてより活発な活動にしていけるといい【案1】 ■使用料の値上げを考えてもいい。夏休み子どもはできるだけ安く【全体】 ■コスパや周辺環境を考えるより、実際にプールを使用する人のことを1番に考えてほしい【全体】
--	---	--	--

③第3回ワークショップ結果

第3回 令和4年11月25日（金） 模造紙とりまとめ 1グループ		
		
● 良いと思う理由 ▲ 良いと思わない理由 ■ 整備に関して改善すべきこと 【案1】 ● 水泳大会ができる ● 値段が安いのは良い ● 低コスト ● 利用料抑えられる？ ● 現状維持 ▲ バリアフリーに適應できない ▲ 古すぎるので安価でも保全改修しても良くない ▲ 案のデメリットに示してある通り、動線、レイアウトが良くなく、使いづらい設計（更衣室→プール） ▲ 事故が起きやすい可能性 ▲ 維持コストがかかる ▲ 利用者が限定的 ▲ 屋外プールがあると日焼けを好む方もおり、サンオイル塗布すると水質悪化する 【案2】 ● 温水プールが9コースになる ● より多くの人が利用できる ● 屋外使える ▲ 同じ大きさの屋外に25mプールがあることにメリット感がない ▲ 貴重な50mプールがなくなる ▲ 屋外プールがあると日焼けを好む方もおり、サンオイル塗布すると水質悪化する	【案3】 ● より多くの人が利用できる ● 温水プールが大きくなる（9コース） ● イベント、大会が開催されやすくなる ● 障害者の方も使いやすくなる ▲ 貴重な50mプールがなくなる 【整備に関して改善すべきこと】 ■ 屋外プールは雨が降っても使えるようにしては・・・屋根をかける【案1、2】 ■ 建物の立体化 1階駐車スペース 2階プール【案2】 ■ プールの深さを可動式にする【案2】 ■ 障害者用、幼児用のプールへのアクセス用に手すり付スロープを設置することは不可欠と考える【案2、3】 ■ 車イス利用時に安全が確保出来る通路【案2、3】 ■ お風呂屋さんをつくる【案2、3】 ■ 体育館の利用者も使えるお風呂をつくる【案2、3】 ■ ちょい寄りできるスペースがあって年代をこえた交流のできる場【案2、3】 ■ 交流できる場【案2、3】 ■ 子どもを預かれるところを作る【案2、3】	■ 日中仕事をしている人に対しての夜開くセミナー等をできる場所【案2、3】 ■ 建物を立体化し、1階を駐車場に2階をプールに（武蔵の森プール）【案3】 ■ 室内を50mにし可動式（深さ・距離）にする（武蔵の森プール）【案3】 ■ 10分休憩はなくてもよい【全体】 ■ ドライヤーがあるといい【全体】 ■ シャワールームでの石けん、シャンプーの使用を認めて欲しい（プールの塩素でバリバリになった髪の毛等が気持ち悪い）シャワーにボディソープは不可欠【全体】 ■ 音楽を聴くイヤホンなどが使えるとよい【全体】 ■ プールでの遊泳時にスマートウォッチの着用を可として欲しい（今のスマートウォッチには遊泳距離ストロークなどを記録する機能あり）【全体】



●良いと思う理由

▲良いと思わない理由

■整備に関して改善すべきこと

【案1】

- 屋外の10円プールが、子どもたちにとって使いやすい
- 屋外プールがある 他市との差別化
- 夏に外のプールは気持ちいい。
- 防災用のプール(屋外)としての必要性
- 屋外プールは特に、近隣の人達が利用する(武蔵野市の体育館の周知)
- 世界情勢・・・建設費UP 落ちつくまでメンテしながら使う コスト面で有利
- コロナ禍での使用が少ない時には是非政策を!!
- ▲使用者・時期を考えると費用対効果が・・・

【案2】

- コロナ禍での使用が少ない時には是非政策を!!
- ▲50mで泳げない

【案3】

- 面積が広くなれば、子どもプールの充実 スライダーとか
- プール種類 集客につなげる特化する。公認/遊び
- 「障害者スポーツの武蔵野市」を進める
- コロナ禍での使用が少ない時には是非政策を!!
- ▲外プール利用でカヌーの為に
- ▲屋内だけだと音などの問題? 子どもの声など・・・いろいろなニーズに対応できるから
- ▲50mで泳げない

【整備に関して改善すべきこと】

- 50mで泳げるようにしてほしい(区切らない)【案1】
- 体育館へのアクセス 市内全エリアから行きやすく ムーブバス【案1、2、3】

- 幼児～高齢者・障害者まで幅広いニーズに対応できるプールにしてほしい(例:遊び、競技、水中ウォーキング、日光浴など)【案1、2、3】
- じゃぶじゃぶ池、シャワーとか? 幼児が「外」で楽しめる施設 プール施設の一部として更衣室も使える【案3】
- いつも、50mプールを泳げるようにする【案3】
- 25m×2(屋内・外) →50m×1(屋内) →25m×2にできる【全体】
- (上の意見に)同じ【全体】
- 公認プール(大会競技記録)にする【全体】
- 障害者プール必要【全体】
- 他市のよいプールの事例についても調査し、検討するとよいと思う(例:多摩市、町田市など)【全体】

(2) ワークショップ企画
①ワークショッププログラム

所要 時間	累計 時間	事項	説明 進行	概要	備考
	0	開会			
5	5	開会挨拶	担当課	参加者への御礼、WS開催の主旨 (市民意見の尊重など)	写真撮影の 了承
10	15	説明① 3つの検討案	担当課	検討の経緯、3つの検討案の考え 方・特徴などを簡潔に説明	
10	25	説明② グループ討議の進め方	受託者	本日WSのとりまとめイメージ・ 意見交換のルールを説明	
40	65	グループワーク	受託者	テーマ：3つの検討案への意見	
20	85	発表	受託者	参加者が発表	
5	90	閉会挨拶	担当課	参加者への御礼、事務連絡 (今後の予定など)	
	90	閉会			

②ワークショップ説明資料

プール施設のあり方について

ここからは、今後の市営プールの整備について、ご意見を伺います。下記参考資料をご一読のうえ、問12以降にお答えください。

(参考資料)

昨年度の第二期武蔵野市スポーツ推進計画の策定過程において、今後の市営プールの整備のあり方について、市民の皆様からの意見を踏まえ、その方向性が示されました。

ここでは、現状・課題とともに検討された整備検討案と整備の方向性について、ご説明します。

①整備の目的

- ・障害の有無に関わらず、幼児から高齢者までが快適かつ安全安心に、年間を通して利用できるプールとするため
- ・観るスポーツ・障害者スポーツの促進、エリア一体の良好なまちづくり、災害時への円滑な対応など、複合的な取組みができる施設とするため

②現状と課題

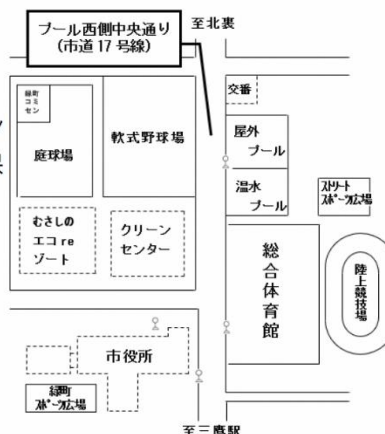
市営プールは、温水プール、屋外プール及び管理棟で構成されています。同プールと周辺環境の現状と課題は以下のとおりです。

【市営プール】

- ・温水プール棟は平成元年(1989)年竣工、管理棟は昭和 57(1982)年竣工です。また、戦後市が中島飛行機武蔵野製作所から譲り受けた屋外プールは、戦前から使用されています。現在の施設を維持するために必要な改修を行うと工事費に約 10 億円がかかる見込みです。
- ・管理棟は、屋外プール用として建てられ、後に温水プール棟を増設しているため、改修しても、換気(臭気)、動線の複雑さ、バリアフリー化などの現行の課題は解消できません。
- ・屋外プールは、年間を通しての利用が7月～9月中旬のみとなっており、気象条件により開場日が更に限定されます(令和元年は開場期間 77 日のうち 22 日が悪天候により使用を中止)。また、50m プールとしての使用は年2回の大会のみです。施設の規模が大きく大量の水を必要としますが、経年劣化により井戸水が使用できないことから多額の水道料金がかかり、施設の維持管理が非効率となっています。

【周辺環境】

- ・災害時には、総合体育館が物資輸送拠点、陸上競技場が自衛隊宿泊地として位置づけられていますが、市営プールと隣接する総合体育館の間の通路等が狭く、進入路の確保ができません。また、スポーツ大会等の開催時に選手等の移動や機材搬入等に必要な大型車両の進入路及び駐車スペースも確保できません。
- ・プール西側の中央通り(市道第 17 号線)は歩道が狭く、快適な歩道空間の確保及びバリアフリー化等のため、現在のプール敷地に歩道を広げる必要があります。



③整備検討案

※文中のコストは令和3年度計画策定時の概算金額です。

案1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する

メリット	・工事費が施設を建て替えるよりも安価となる。(約10億円) ・屋外プール(50m)を継続して利用することができる。
デメリット	・管理棟を継続して利用するため、換気(臭気)やバリアフリー化、温水プールとの導線の複雑さについての課題が解決できない。 ・プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースを確保できない。また、総合体育館や陸上競技場への車両の進入路や駐車スペースが確保できない。 ・屋外プールの管理運営費が継続してかかる。(5億円/20年間)

案2 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小する

※既存の屋外プールは50m

メリット	・換気やバリアフリー化、管理棟と温水プールとの導線の複雑さなどの課題が改善される。 ・屋外プール(25m)を継続して利用できる。温水プールの建替えに伴い、25mプールのコース増設(現7コースを9コースへ)、屋外にある幼児プールの屋内化などの機能の向上を図る。 ・屋外プールの縮小に伴い、プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースの確保や総合体育館、陸上競技場への車両の進入路や駐車スペースが確保できる。また、地域のイベントなどで活用可能な多目的スペースの確保を検討できる。
デメリット	・工事費及び管理運営費の比較コスト合計が最も高くなる。(約36億円) ・屋外プールの管理運営費が継続してかかる。(5億円/20年間) ・既存の屋外プール(50m)で開催されていた大会(年2回)ができなくなる。

案3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止する

メリット	・換気やバリアフリー化、管理棟と温水プールとの導線の複雑さなどの課題が改善される。 ・温水プールの建替えに伴い、25mプールのコース増設(現7コースを9コースへ)、屋外にある幼児プールの屋内化などの機能の向上を図る。 ・屋外プールの廃止に伴い、敷地内に十分なスペースを確保できるため、大規模なスポーツイベントをはじめ、障害者スポーツ、ニュースポーツ、アウトドアなどの多彩な活用が可能となる。また、プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道拡幅に必要なスペースの確保とともに周辺の交通円滑化が図れる。更に、災害時における緊急・大型車両の進入路、駐車スペースの確保もできる。 ・屋外プールの管理運営費がかからない。(－5億円/20年間)
デメリット	・既存の屋外プール(50m)で開催されていた大会(年2回)ができなくなる。 ・屋外プールの廃止に伴い、夏期の利用人数やレクリエーション機会が減少する。

上記3案の比較コスト		(内 訳)	
		工事費	屋外プールの管理運営費
案1	約15億円	約10億円(改修工事)	約5億円(2,500万円/年×20年間)
案2	約36億円	約31億円(解体・建替工事)	約5億円(同 上)
案3	約26億円	約26億円(解体・建替工事)	なし(屋外プールの廃止)

第二期スポーツ推進計画では比較検討の結果
整備の方向性として【案3】を採用

第二期スポーツ推進計画は、右記二次元コードからご覧いただけます。



市営プールの整備に関する 市民ワークショップ

武蔵野市生涯学習スポーツ課

2022年11月

本日の進め方

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 開会・あいさつ・主旨説明 | 5分 |
| 2. 説明① 3つの検討案について | 10分 |
| 3. 説明② ワークショップの進め方 | 10分 |
| 4. グループ討議 | 40分 |
| 5. 発表・全体共有 | 20分 |
| 6. 閉会・事務連絡・お知らせ | 5分 |

開催の主旨

【 市営プールの老朽化による整備の必要性 】

第二期武蔵野スポーツ推進計画で示された市営プールの整備の方向性に対する市民の意見や要望を把握

- ① 市民アンケート調査
- ② 利用者ヒアリング
- ③ 利用者団体ヒアリング
- ④ 市民ワークショップ(本日)



市民の意見や要望を把握し、
武蔵野市第六期長期計画・調整計画策定
の基礎資料とする

2

3つの検討案（現状と課題）

- ① 温水プール棟(平成元年竣工)、管理棟(昭和57年竣工)、屋外プール(戦前から使用)
- ② 管理棟は換気(臭気)、動線の複雑さ、バリアフリー化など解消が困難
- ③ 屋外プールは施設の維持管理が非効率
- ④ 市営プールと総合体育館の間の通路の狭さ
- ⑤ プール西側の中央通り(市道第17号線)の歩道の狭さ



3

3つの検討案（整備検討案）

案1 現施設の保全改修工事を行って継続利用する

案2 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小する

案3 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止する

上記3案の比較コスト		(内 訳)	
		工事費	屋外プールの管理運営費
案1	約15億円	約10億円（改修工事）	約5億円（2,500万円/年×20年間）
案2	約36億円	約31億円（解体・建替工事）	約5億円（同 上）
案3	約26億円	約26億円（解体・建替工事）	なし（屋外プールの廃止）

4

ワークショップの進め方 本日のテーマ

〈意見交換のテーマ〉

- ◆ 3つの検討案の比較検討
- ◆ 整備に際して改善すべきこと
について、
各グループで意見を出し合いましょう。



出された意見について、
模造紙のうえで整理しましょう。

5

ワークショップの進め方 話し合いのルール

1. 意見は必ず付箋に記入しましょう。

注) 付箋に書かれていない意見は記録に残りません。

2. 1枚の付箋には1つの意見を書きましょう。

3. 多様な視点から、意見を出し合いましょう。

注) 意見の優劣を決める場ではありません。

4. 限られた時間の中で全員が発言できるよう、発言は手短かに。

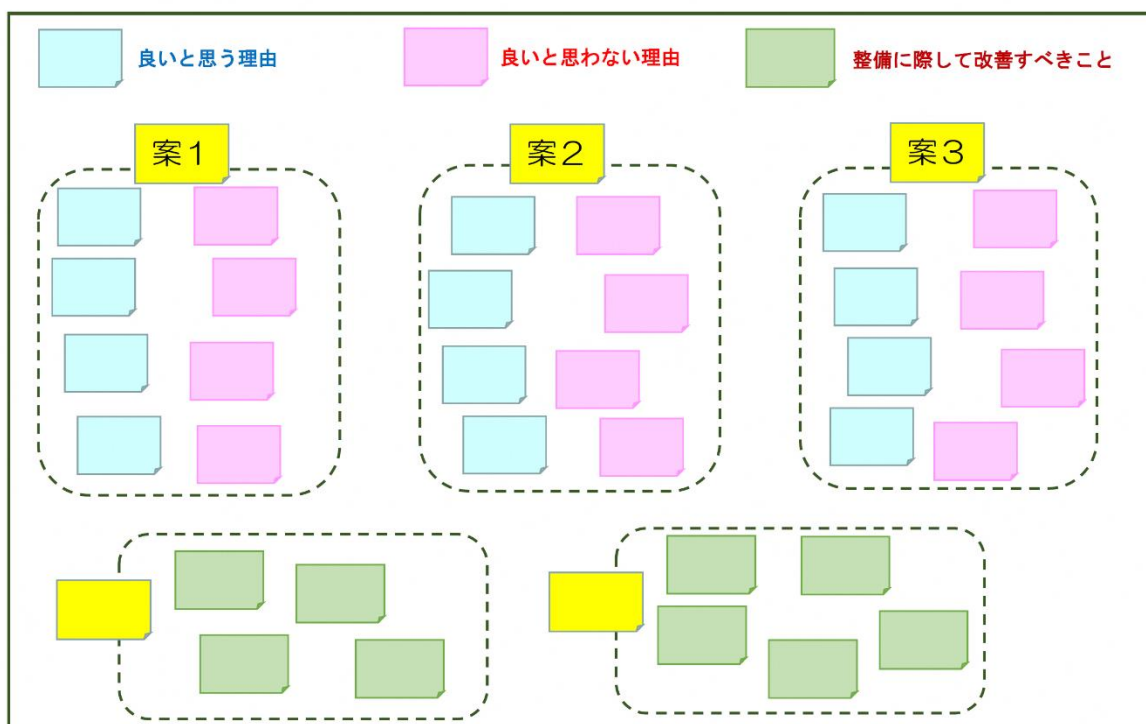
5. 他の参加者の意見をよく聴き、自分の考えを広げましょう。

6. 互いを勇気づけ、発言しやすい雰囲気をつくりましょう。

7. 同じ市民として、対等な立場で意見交換しましょう。

6

ワークショップの進め方 本日の成果（イメージ）



7

ワークショップの進め方 発表・全体共有

- ◆グループでの議論を紹介し合い、**みんなで共有**しましょう。
- ◆各グループでとりまとめた模造紙は、みんなの成果として、今後の市内での取り組みなどに生かしましょう。
- ◆グループ発表の時間は、**各グループ5分程度**です。
- ◆グループ発表では、主に次のようなことを**紹介**しましょう。
 - ・盛り上がった議論／意見が分かれた議論
 - ・多かった意見／ユニークなアイデア など

市営プールの整備に関する市民アンケート調査等報告書

令和5年2月

発 行 武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課
所在地 〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28
電 話 0422-60-1903 FAX 0422-51-9264
E-mail SEC-SYOUNGAKU@city.musashino.lg.jp
